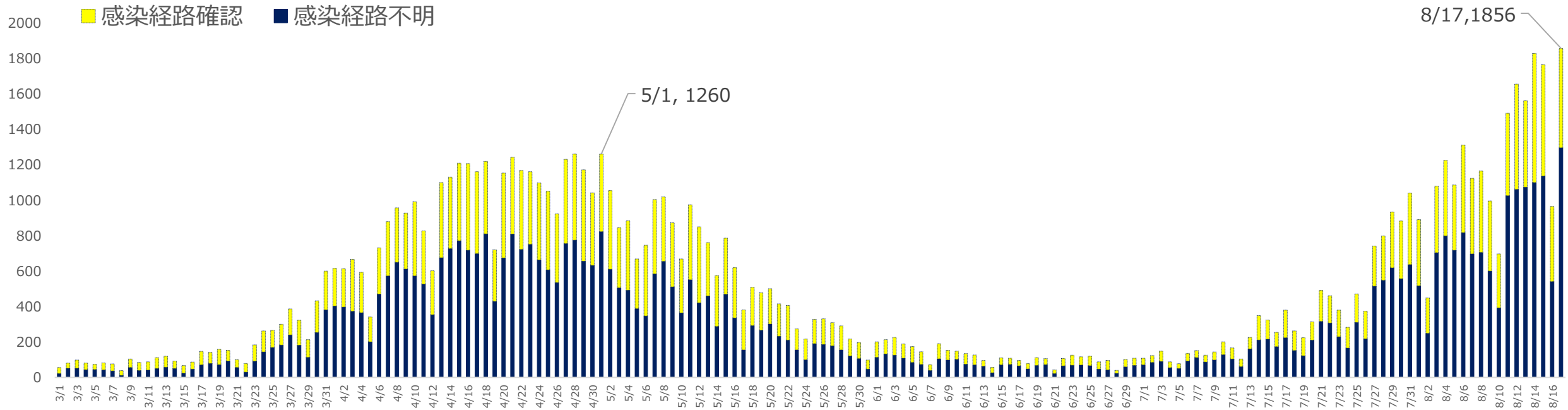


- |   |                   |        |
|---|-------------------|--------|
| 1 | 陽性者数等の推移          | P2~14  |
| 2 | 市内・市外の比較          | P15~16 |
| 3 | 年代・居住地別の比較        | P17~19 |
| 4 | 感染経路              | P20~22 |
| 5 | 感染エピソード           | P23~28 |
| 6 | 感染・療養状況とワクチンの接種状況 | P29~37 |

# 1 陽性者数等の推移

# 陽性者数の推移



3月1日～緊急事態宣言解除  
黄信号点灯  
4人以下でのマスク会食の徹底  
歓送迎会・謝恩会・宴会に伴う花見の自粛要請  
大阪市全域の飲食店及び遊興施設の時短要請  
府民への不要不急の外出自粛要請等

3月26日 本部会議において、府全域時短要請  
(21時まで)を決定(4月1日から)

3月31日 まん延防止等重点措置要請  
4月1日～  
大阪府全域の飲食店及び遊興施設の時短要請(21時まで)

4月7日 赤信号点灯(医療非常事態宣言)  
重点措置を講じるべき区域(大阪市)  
時短要請(20時まで)

4月8日 府域における不要不急の外出移動  
自粛要請

4月9日 週末の外出移動自粛要請  
徹底等を要請

4月14日 大学等でのオンライン授業実施や  
学校での部活動休止、テレワーク

4月20日 緊急事態宣言発出要請

4月23日 緊急事態宣言発出決定  
施設への休業要請等

4月25日 緊急事態措置適用(～6月20日まで)  
不要不急の外出自粛要請、飲食店・一部

判明日

6月18日 緊急事態宣言解除決定  
まん延防止等重点措置適用決定

6月21日～緊急事態措置解除・まん延防止等重点措置適用  
重点措置を講じるべき区域(33市)  
時短要請(20時まで)  
重点措置対象区域外(10町村) 時短要請  
(21時まで)  
※酒類提供は原則自粛。  
ただし、ゴールドステッカー認証店舗等で、同一グループの入店を原則2人以内は提供可能11時～19時  
※区域外は20時  
カラオケ設備の利用自粛 等

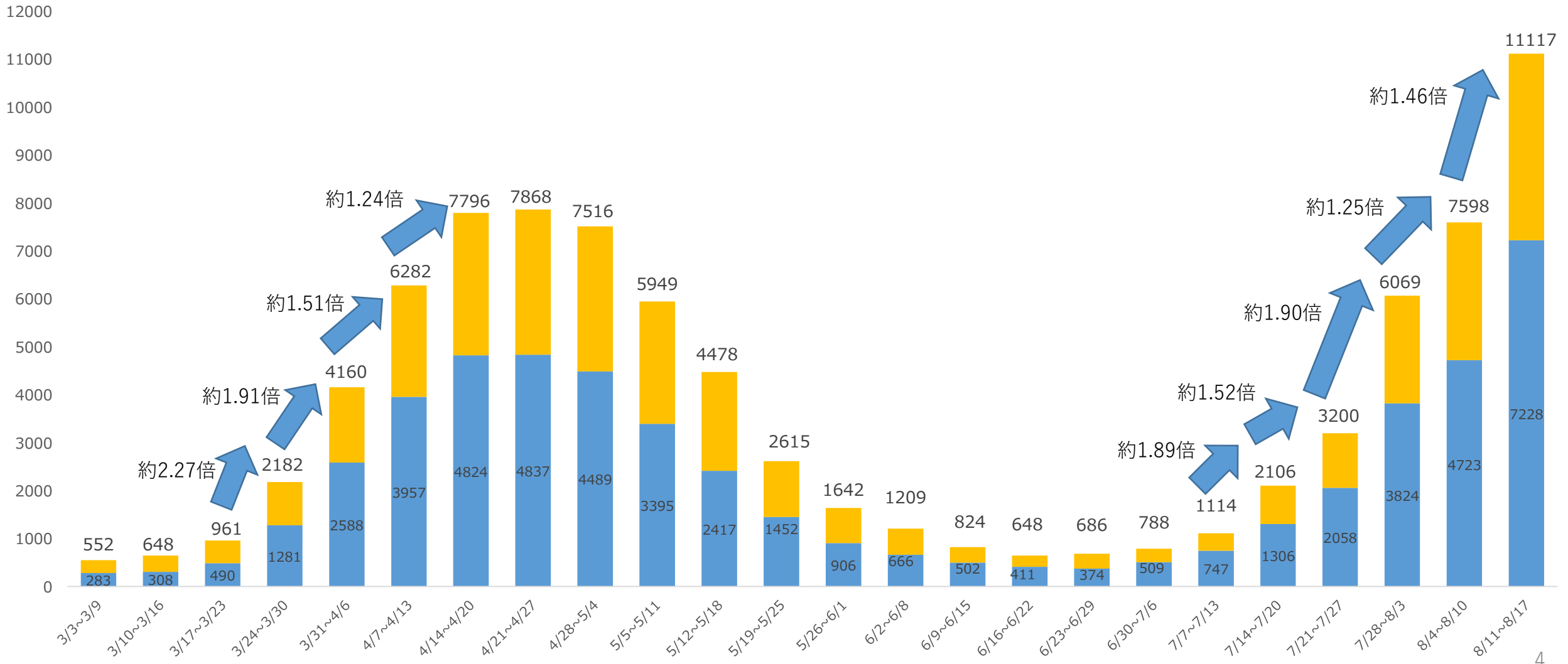
8月2日 緊急事態措置適用(～8月31日まで)  
不要不急の外出自粛要請、飲食店・一部  
施設への休業要請等

# 7日間毎の新規陽性者数

◆ 第四波と比べ、1か月以上の長期間にわたって感染速度が緩むことなく、急拡大しており、直近1週間で一日平均約1,588名と、第四波の感染規模を大きく上回っている。

3/1~6/20を「第四波」、  
6/21以降を「第五波」として分析

■ 感染経路不明 ■ 感染経路確認



# 新規陽性者数及び前週同曜日増加比の推移

(上段：新規陽性者数 下段：前週同曜日比較)

◆ 第四波は緊急事態措置適用後(4/25)、感染が収束したが、第五波は措置適用後(8/2)も感染が急拡大。

		日	月	火	水	木	金	土	週合計			日	月	火	水	木	金	土	週合計					
3月	14	15	16	17	18	19	20	週合計	4	5	6	7	8	9	10	週合計	18	19	20	21	22	23	24	週合計
	92 (1.21)	67 (1.76)	86 (0.83)	147 (1.75)	141 (1.60)	158 (1.42)	153 (1.28)	844 (1.36)	88 (0.92)	78 (1.95)	136 (1.35)	151 (1.40)	125 (1.16)	143 (1.16)	200 (1.35)	921 (1.27)	262 (1.57)	224 (2.13)	313 (1.39)	491 (1.41)	461 (1.42)	379 (1.49)	283 (0.74)	2,413 (1.34)
3月	21	22	23	24	25	26	27	週合計	11	12	13	14	15	16	17	週合計	25	26	27	28	29	30	31	週合計
	100 (1.09)	79 (1.18)	183 (2.13)	262 (1.78)	266 (1.89)	300 (1.90)	386 (2.52)	1,576 (1.87)	167 (1.90)	105 (1.36)	225 (1.65)	349 (2.31)	324 (2.59)	254 (1.78)	380 (1.90)	1,804 (1.96)	471 (1.80)	374 (1.67)	741 (2.37)	798 (1.63)	932 (2.02)	882 (2.33)	1,040 (3.67)	5,238 (2.17)
4月	28	29	30	31	44,287	2	3	週合計	8/1	2	3	4	5	6	7	週合計	8	9	10	11	12	13	14	週合計
	323 (3.23)	213 (2.70)	432 (2.36)	600 (2.29)	616 (2.32)	613 (2.04)	666 (1.73)	3,463 (2.20)	890 (1.89)	448 (1.20)	1,079 (1.46)	1,224 (1.53)	1,085 (1.65)	1,310 (1.49)	1,123 (1.08)	7,159 (1.37)	1,164 (1.31)	995 (2.22)	697 (0.65)	1,458 (1.22)	1,654 (1.52)	1,561 (1.19)	1,828 (1.63)	9,357 (1.31)
4月	4	5	6	7	8	9	10	週合計	15	16	17	18	19	20	21	週合計	15	16	17	18	19	20	21	週合計
	593 (1.84)	341 (1.60)	731 (1.69)	879 (1.47)	957 (1.55)	927 (1.51)	991 (1.49)	5,419 (1.56)	827 (1.39)	602 (1.77)	1,099 (1.50)	1,130 (1.29)	1,208 (1.26)	1,206 (1.30)	1,161 (1.17)	7,233 (1.33)	1,764 (1.52)	964 (0.97)	1,856 (2.66)	()	()	()	()	4,584 (1.02)
4月	11	12	13	14	15	16	17	週合計	18	19	20	21	22	23	24	週合計	25	26	27	28	29	30	44,317	週合計
	827 (1.39)	602 (1.77)	1,099 (1.50)	1,130 (1.29)	1,208 (1.26)	1,206 (1.30)	1,161 (1.17)	7,233 (1.33)	1,219 (1.47)	719 (1.19)	1,153 (1.05)	1,241 (1.10)	1,167 (0.97)	1,161 (0.96)	1,097 (0.94)	7,757 (1.07)	1,050 (0.86)	922 (1.28)	1,230 (1.07)	1,260 (1.02)	1,171 (1.00)	1,041 (0.90)	1,260 (1.15)	7,934 (1.02)

緊急事態措置  
適用(4/25)

まん防適用  
(4/5)

25人超過  
(3/31 28.59)

15人超過  
(3/26 15.24)

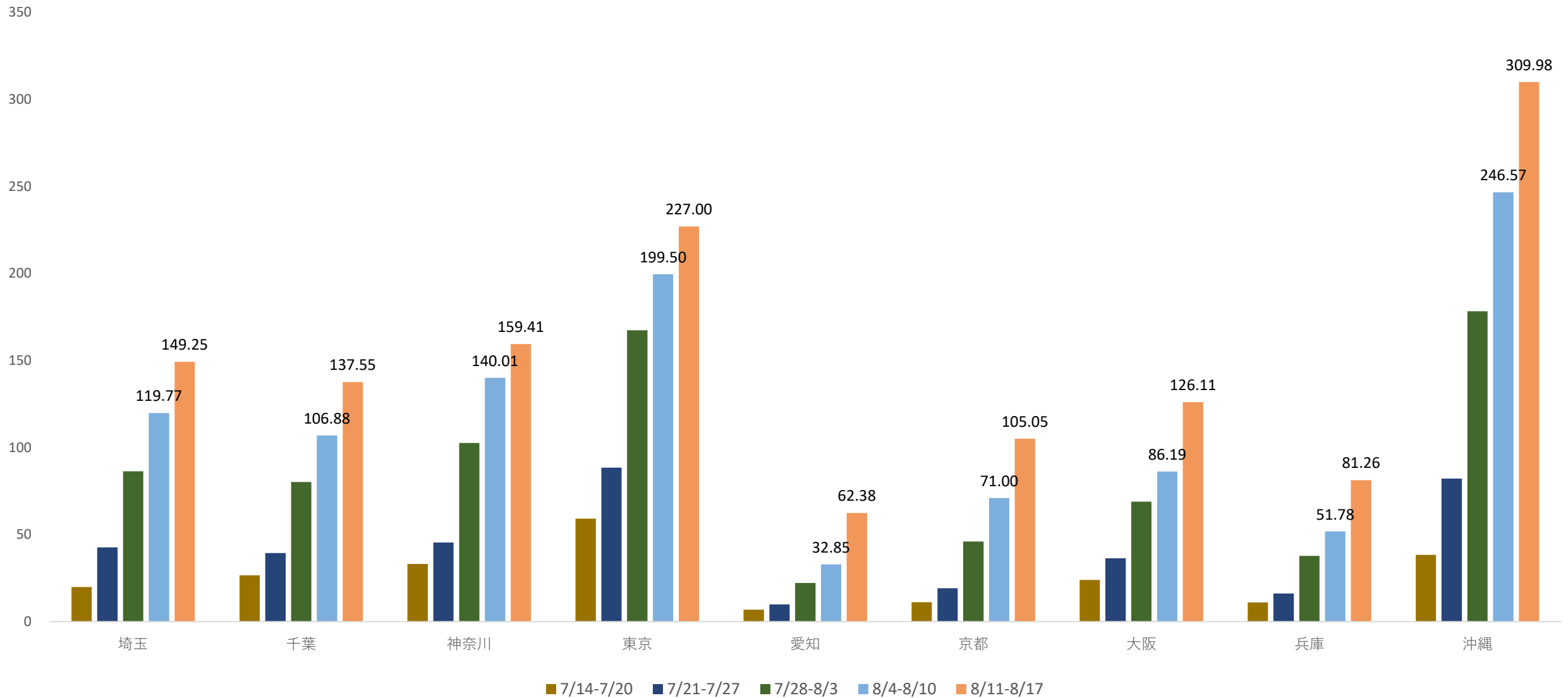
緊急事態措置  
適用(8/2)

25人超過  
(7/21 25.50)

15人超過  
(7/15 17.14)

# 各都道府県 週・人口10万人あたり新規陽性者数の状況

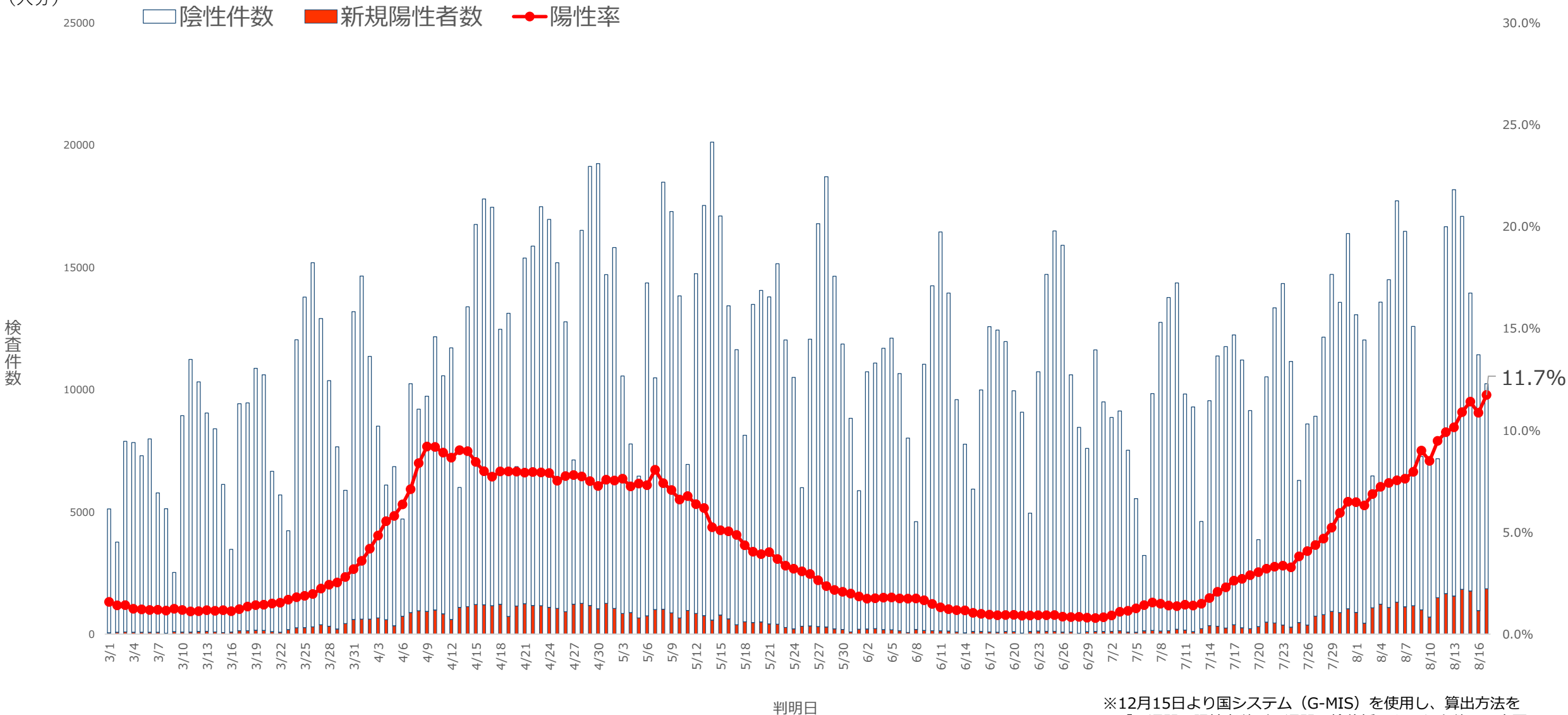
◆ 大阪府の週・人口10万人あたり新規陽性者数は、直近1週間で126.11人（第四波の最大値は、90.06人）。



# 検査件数と陽性率

◆ 陽性率は第四波を上回り、10%を連続して超過。

(人分)

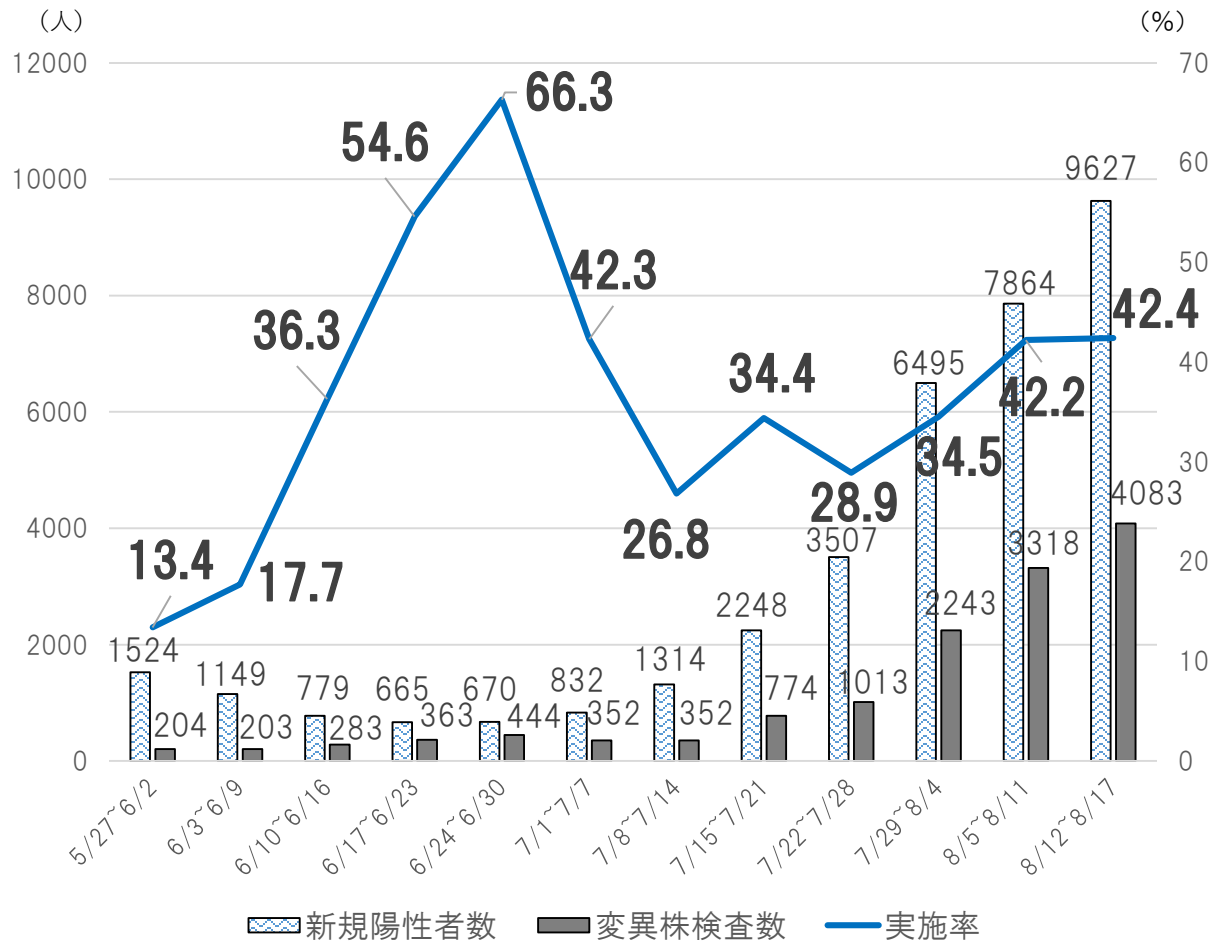


※12月15日より国システム (G-MIS) を使用し、算出方法を「1週間の陽性者数 / 1週間の検体採取をした人数」に変更

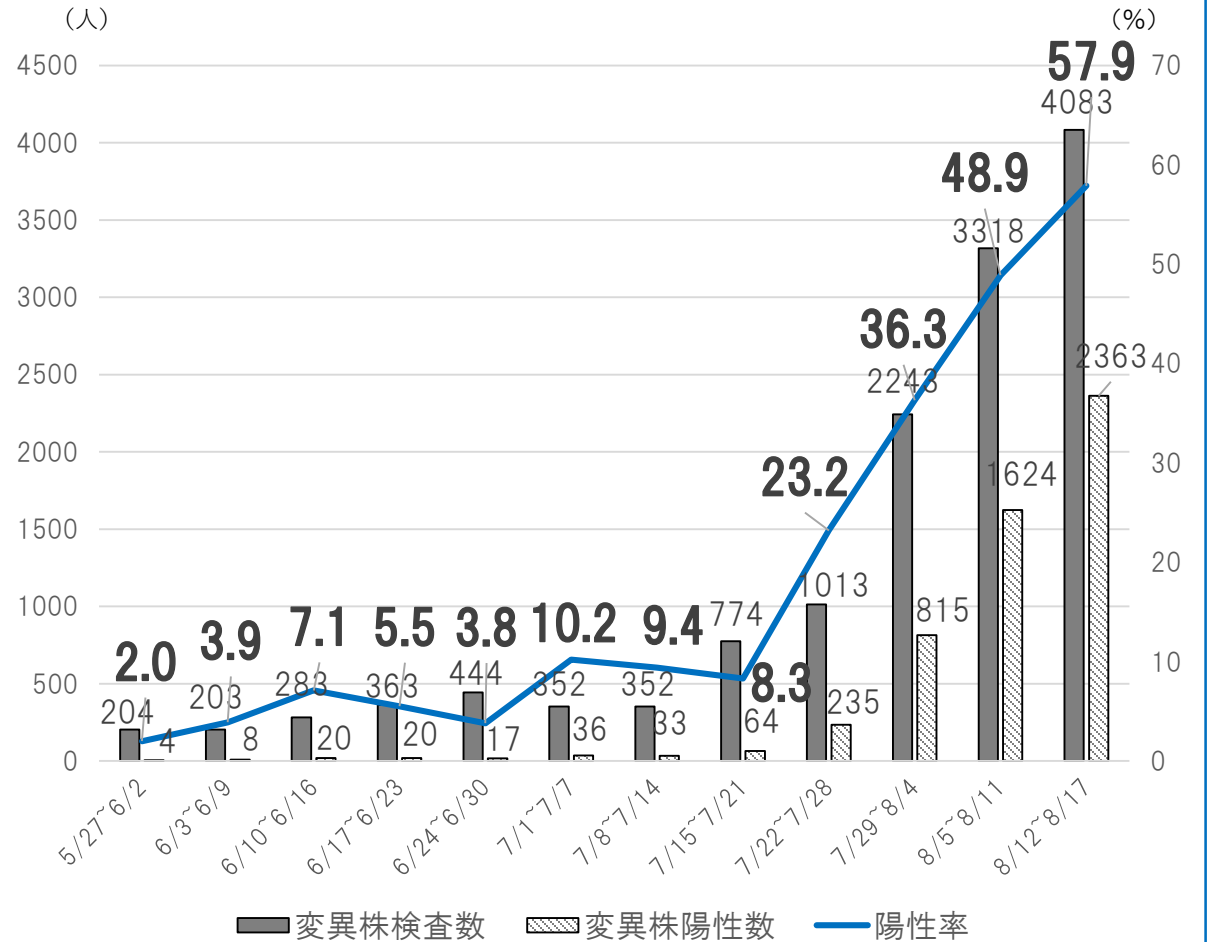
# L452R変異株スクリーニングの実施率及び陽性率（8月17日時点）

◆ L452R変異株スクリーニング検査における直近6日間の陽性率は約6割と直近1か月で大きく増加。

## 新規陽性者数及びスクリーニング検査数（実施率）



## スクリーニング検査数と陽性数（陽性率）

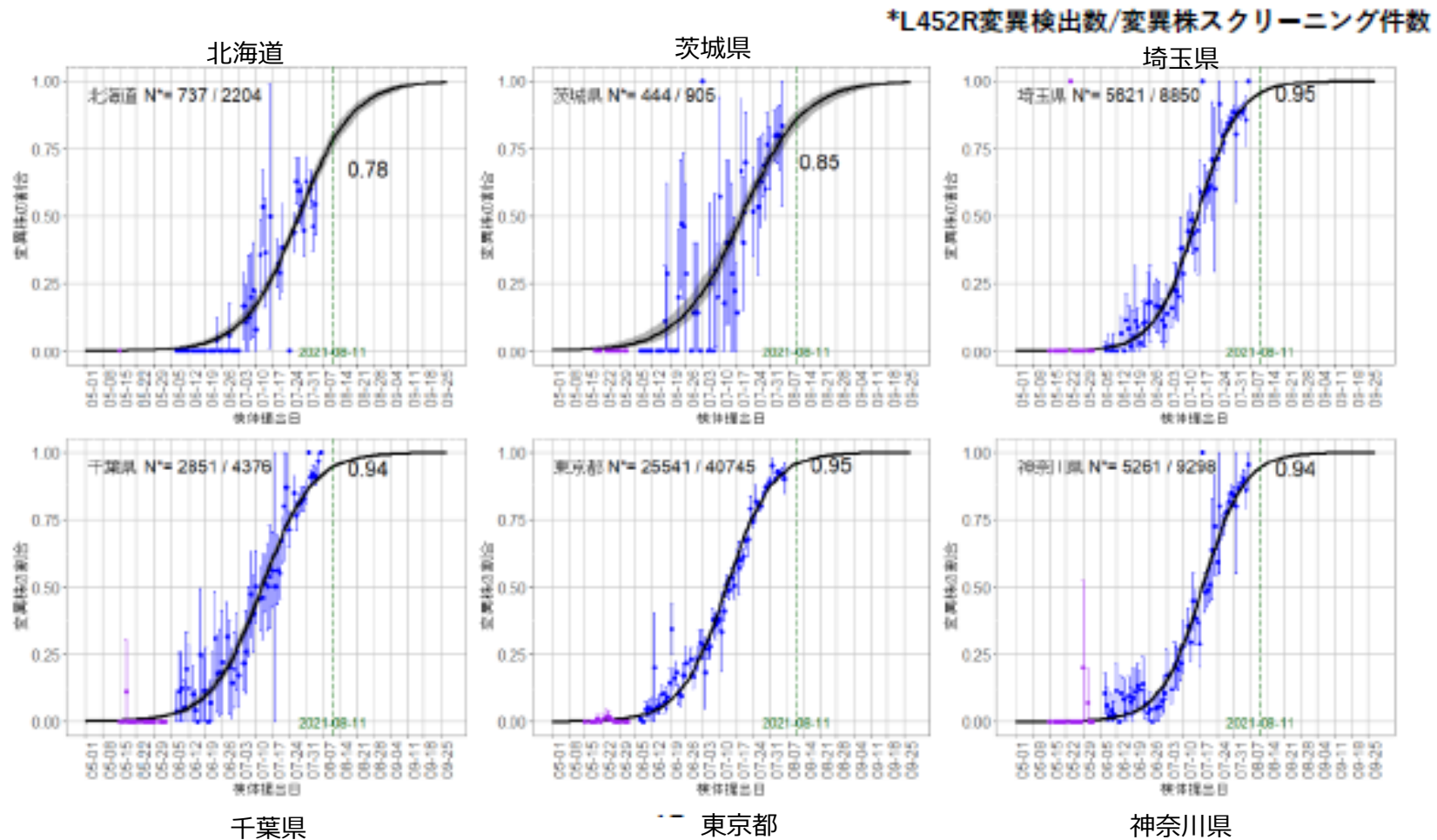


○一般財団法人阪大微生物病研究会でのスクリーニングが始まった5月下旬から1週間毎に集計。（国が委託する大手民間検査機関分も含む）  
 新規陽性者及びスクリーニング陽性数は当該週の公表数、スクリーニング検査数は当該週の結果判明数として、実施率及び陽性率を機械的に算出。  
 ※8/12~8/17の週は、6日間の集計値  
 ※スクリーニング検査数には、インド等への渡航歴がある者やデルタ株等陽性患者との接触歴がある者の検査数を含む。



# (参考) L452R変異株の置き換わりの状況① (アドバイザーボード資料より抜粋)

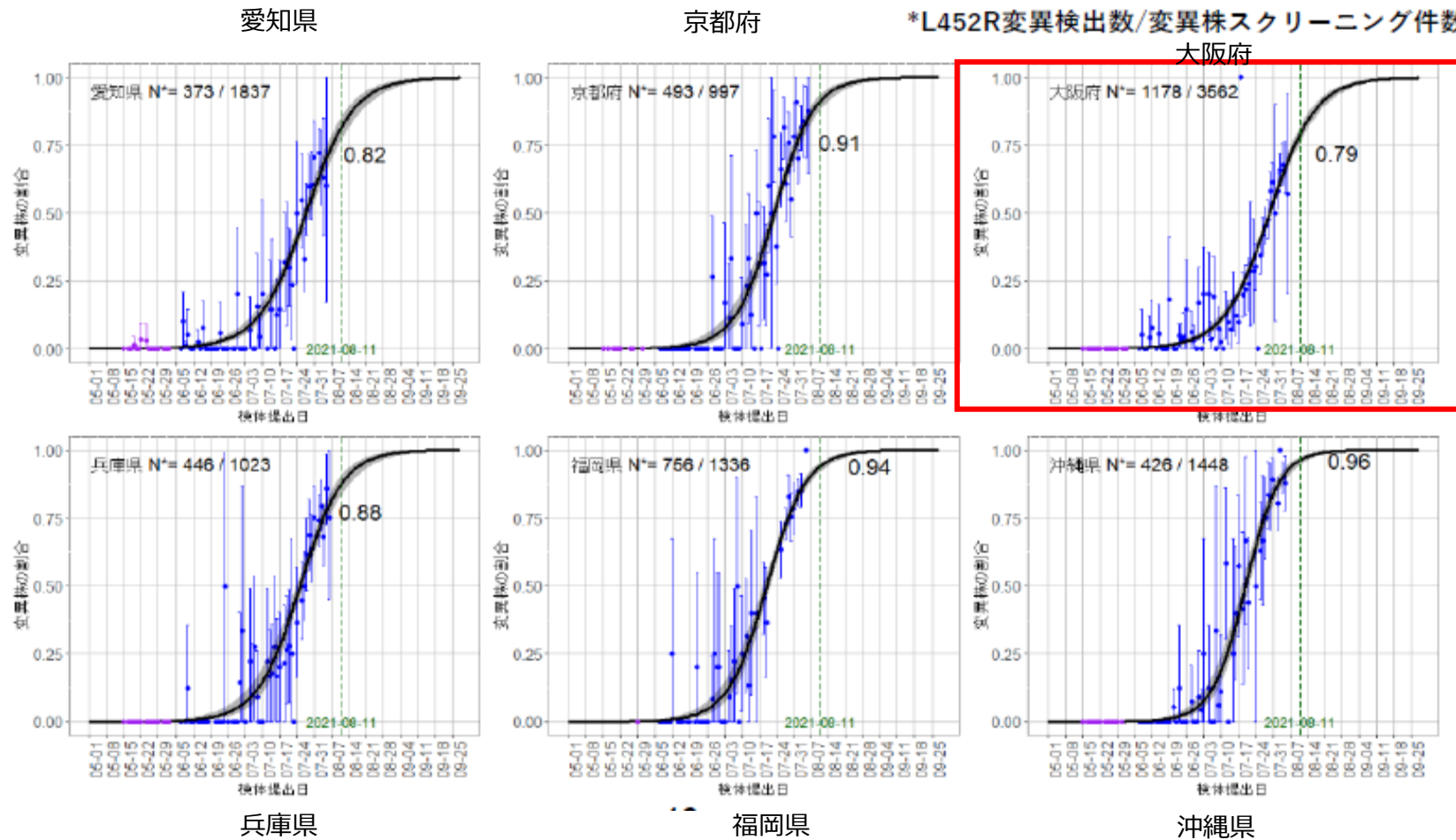
◆首都圏や北海道など、感染が大規模に拡大している都道府県は、デルタ株にほぼ置き換わっている。



# (参考) L452R変異株の置き換わりの状況② (アドバイザーボード資料より抜粋)

◆大阪府は現時点、8月10日時点で約8割であるが、9月上旬にはほぼ置き換わるものと予測。

SARS-CoV-2陽性検体に占めるL452R変異の割合：8月10日時点 (一部都道府県抜粋)



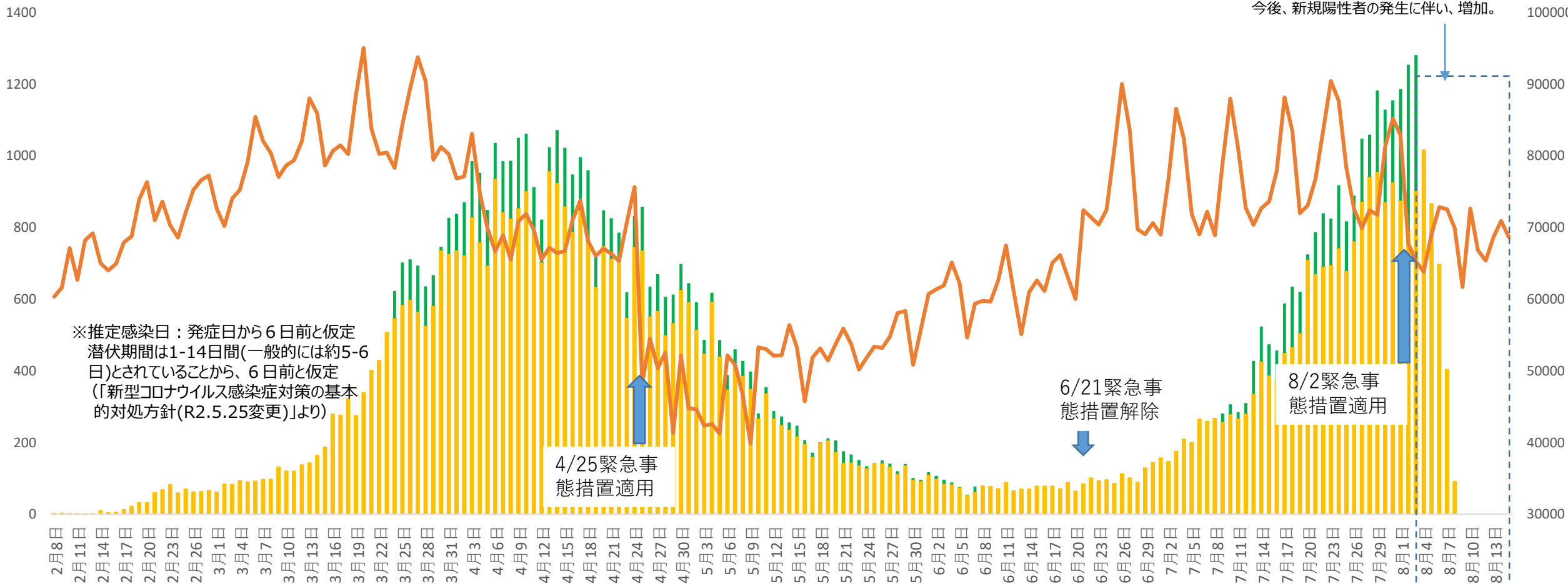
# 第四波・第五波 推定感染日別陽性者数と人流（8月15日時点）

◆緊急事態措置適用（8/2）より人流はやや減少に転じたが、第四波の緊急事態措置適用時と比べ、減少幅は小さく、第四波ほどには減少していない。推定感染日別陽性者数は、措置適用時点では減少の傾向が見られない。

（3月1日以降8月15日までの判明日分）（N=72,986名（調査中、無症状12,339名を除く））

■ 推定感染日別陽性者数
 ■ 推定感染日別陽性者数(発症日不明)
 — 滞在人口（なんば駅 日別）

感染から発症まで6日、  
発症から陽性判明まで7日と仮定すると、  
概ねこの点線枠囲み期間は、  
今後、新規陽性者の発生に伴い、増加。



※推定感染日：発症日から6日前と仮定  
潜伏期間は1-14日間（一般的には約5-6日）とされていることから、6日前と仮定（「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針(R2.5.25変更)」より）

4/25緊急事態措置適用

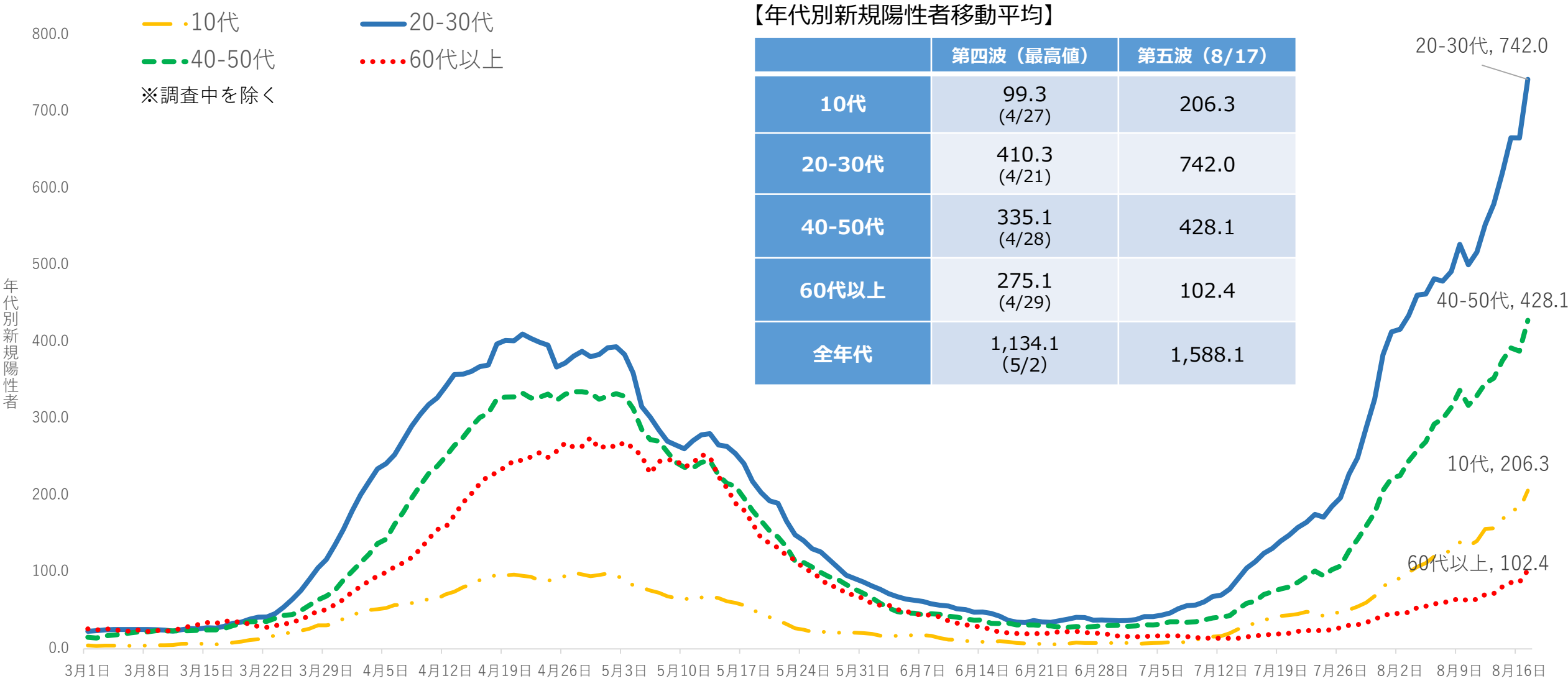
6/21緊急事態措置解除

8/2緊急事態措置適用

※有症状で発症日が確認できなかった事例について、陽性判明日から13日遡って算出（陽性者数に占める発症日不明の割合が10%を越えた4/6以降）  
人流は、駅中心半径500mエリアの各時間ごと滞在人口をカウント【出典：株式会社Agoop】

# 年代別新規陽性者数（7日間移動平均）の推移（日別）

◆ 60代以上を除き、各年代の新規陽性者数が大きく増加し、第四波の最高値を超過。依然、増加傾向。



# 「大阪モデル」モニタリング指標の状況

◆ いずれの指標も急速に増加。

区分	モニタリング指標		警戒の目安	非常事態の 目安	非常事態解 除の目安	警戒解除の 目安	4/25 緊急事態 措置適用	6/21 緊急事態措置 解除・まん延防 止等重点措置 適用	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17	現在の状況
感染状況	分科会 指標	①直近1週間の人口10万人あたり新 規陽性者数	15人以上 (約189人/ 日)	25人以上 (約315人/ 日)	—	—	86.08	7.39	98.51	106.51	113.32	112.97	126.11	7/21に25を超過し、急速に増加
医療提供 体制	分科会 指標	②病床使用率 重症・軽症中等症ともに確保病床数を 分母として算出	20%以上	50%以上	7日間連続 50%未満	7日間連続 20%未満	88.7%	24.5%	56.8%	59.1%	64.2%	68.9%	62.1%	8/8に50%を超過し、急速に増加
	独自指標	③重症病床使用率 一般医療と両立可能な病床数を分母と して算出	20%以上	60%以上	7日間連続 60%未満	7日間連続 20%未満	126.8% (98.6%)	44.0% (30.6%)	42.2% (23.0%)	43.1% (23.5%)	46.6% (25.4%)	47.5% (25.9%)	49.1% (26.7%)	7/26に20%を超過し、急速に増加

【参考指標】

医療提供 体制等	①軽症中等症病床使用率	—	—	—	—	87.1%	23.6%	64.6%	67.3%	73.2%	78.8%	70.2%	8/5に50%を超過し、急速に増加
	②宿泊療養施設部屋数使用率	—	—	—	—	52.7%	5.6%	61.2%	60.6%	59.1%	55.3%	52.9%	8/3に50%を超過 直近の使用率はやや低下傾向

・4月25日及び6月21日の重症病床使用率における重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者を除く。

・括弧内は、確保病床数（4/25は運用病床数）を分母として算出

# 新型コロナウイルス感染症対策分科会におけるモニタリング指標の状況

◆ 重症病床確保病床占有率以外はステージⅣの目安を超過し、依然各指標の数値は悪化。

指標		ステージⅣ 目安	ステージⅢ 目安	4/25 緊急事態措置適用	6/21 緊急事態措置解除 まん防適用	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17	8/17時点の ステージⅣの目安に 対する状況	
医療提供体制等の負荷	医療の逼迫具合	①確保病床占有率	50%以上	20%以上	88.7% (1,882/2,122)	24.5% (664/2,710)	56.8% (1,773/3,121)	59.1% (1,844/3,121)	64.2% (2,004/3,121)	68.9% (2,149/3,121)	62.1% (1,946/3,134)	●
		②入院率	25%以下	40%以下	11.3% (1,882/16,692)	37.1% (664/1,791)	14.4% (1,773/12,301)	14.0% (1,844/13,151)	14.5% (2,004/13,777)	15.2% (2,149/14,137)	13.5% (1,946/14,438)	●
		③重症病床確保病床占有率	50%以上	20%以上	73.1% (386/528)	25.7% (217/843)	36.3% (428/1,179)	36.6% (431/1,179)	37.5% (442/1,179)	37.7% (445/1,179)	38.2% (450/1,179)	○
		④人口10万人あたり療養者数	30人以上	20人以上	189.36	20.32	139.54	149.19	156.29	160.37	163.79	●
感染の状況	⑤陽性率 1週間平均	10%以上	5%以上	7.5%	0.9%	10.1%	10.9%	11.4%	10.9%	11.7%	●	
	⑥直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	25人以上	15人以上	86.08	7.39	98.51	106.51	113.32	112.97	126.11	●	
	⑦感染経路不明割合 1週間平均	50%以上	50%以上	61.3%	64.2%	63.9%	63.4%	63.9%	63.5%	65.0%	●	

入院率は、人口10万人あたり療養者数が10人以上の場合に適用する。ただし、新規陽性者が発生届が届け出られた翌日までに療養場所の種別が決定され、かつ入院が必要な者が同日までに入院している場合には適用しない。  
4月25日及び6月21日の重症病床使用率における重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者を除く。

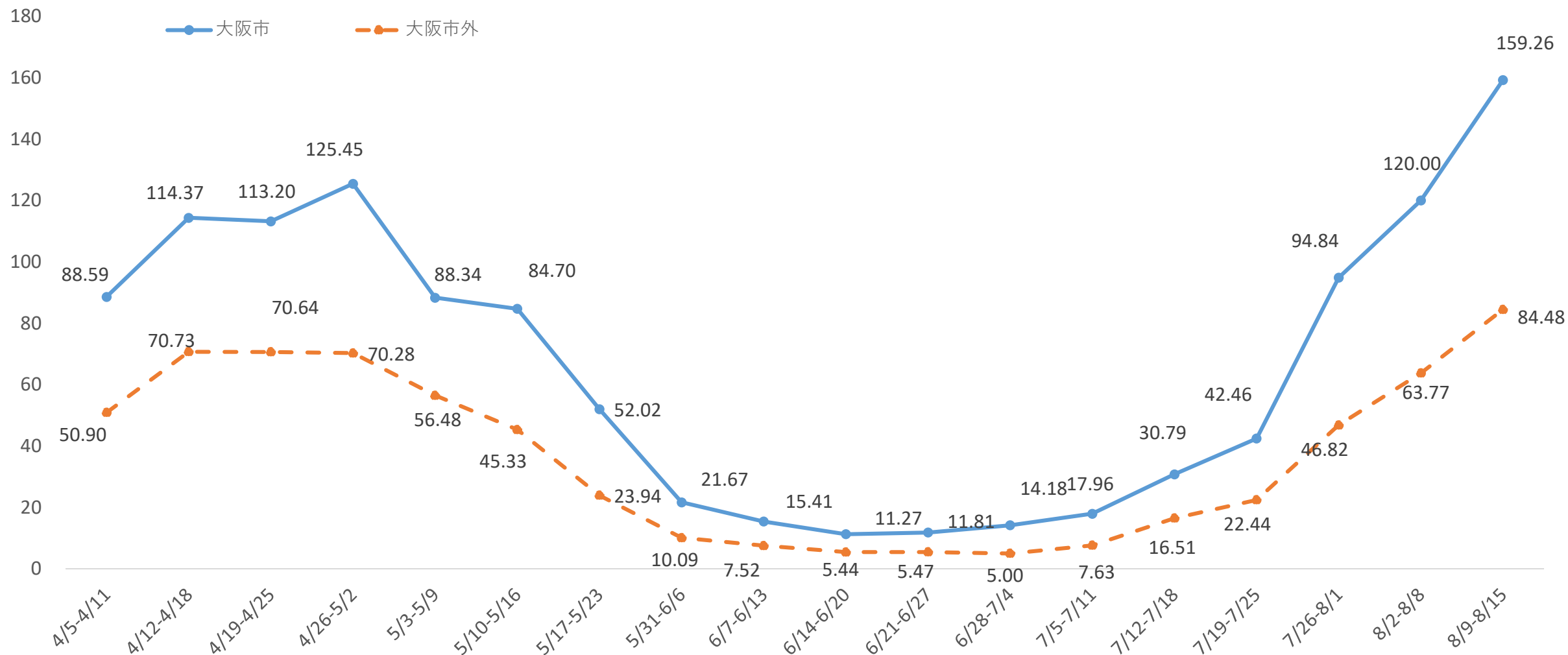
●：基準外 ○：基準内

## 2 市内・市外の比較

# 大阪市・市外の陽性者比較（人口10万人あたり 1週間単位）

※市内外は居住地による  
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

◆ 市内・市外ともに緊急事態措置解除（6/21）後、8/2の緊急事態措置適用後も急増が続いている。





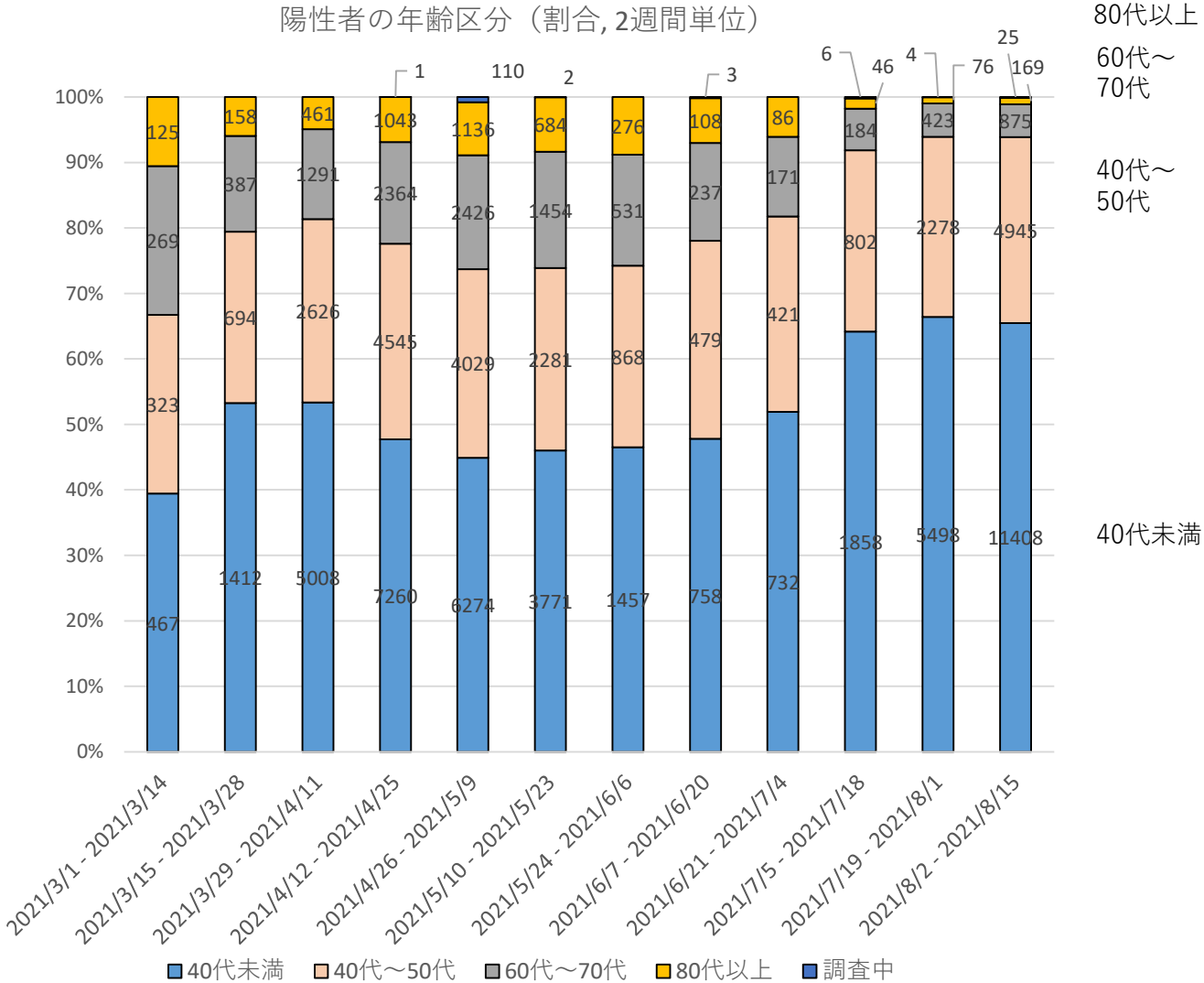
### 3 年代・居住地別の比較

# 陽性者の年齢区分

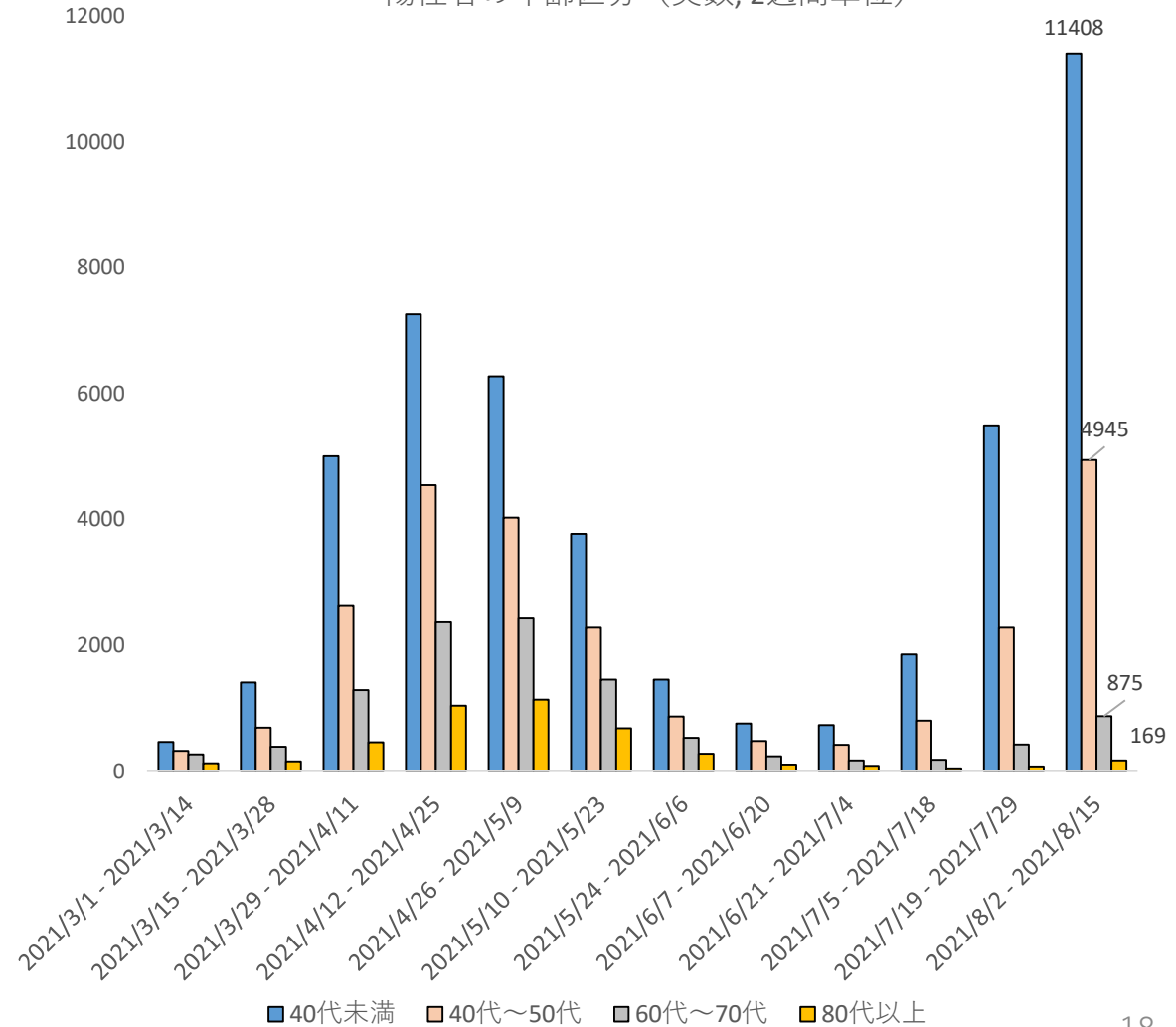
◆ 40代未満の割合が6割を超過。一方、60代以上の割合は1割を下回っている。

(3月1日以降8月15日までに判明した85,325事例の状況)

陽性者の年齢区分 (割合, 2週間単位)



陽性者の年齢区分 (実数, 2週間単位)

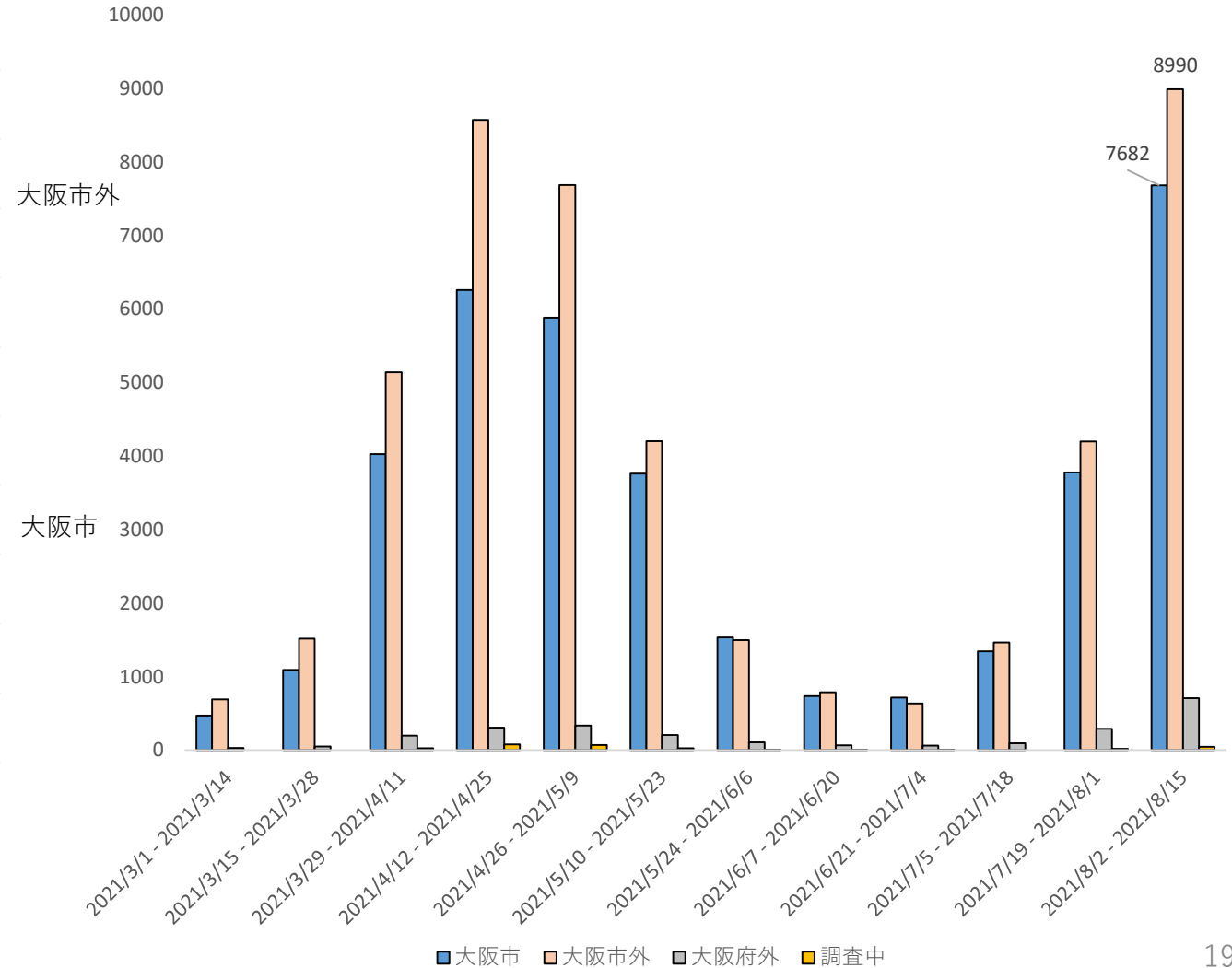
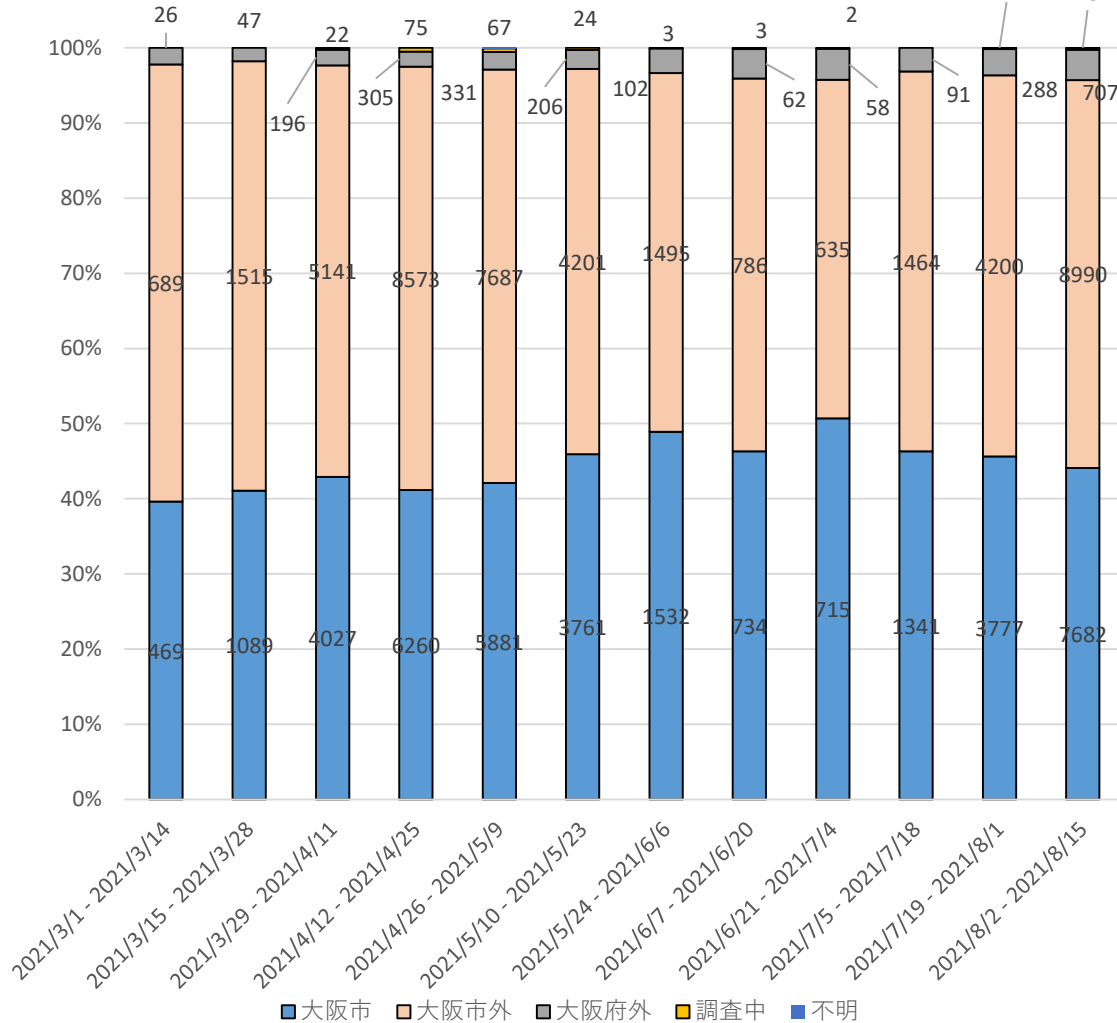


# 陽性者の居住地

◆ 7月以降、市外居住者の割合が増加し、6割近くとなっている。

(3月1日以降8月15日までに判明した85,325事例の状況)  
陽性者の居住地区分 (実数, 2週間単位)

陽性者の居住地区分 (割合, 2週間単位)

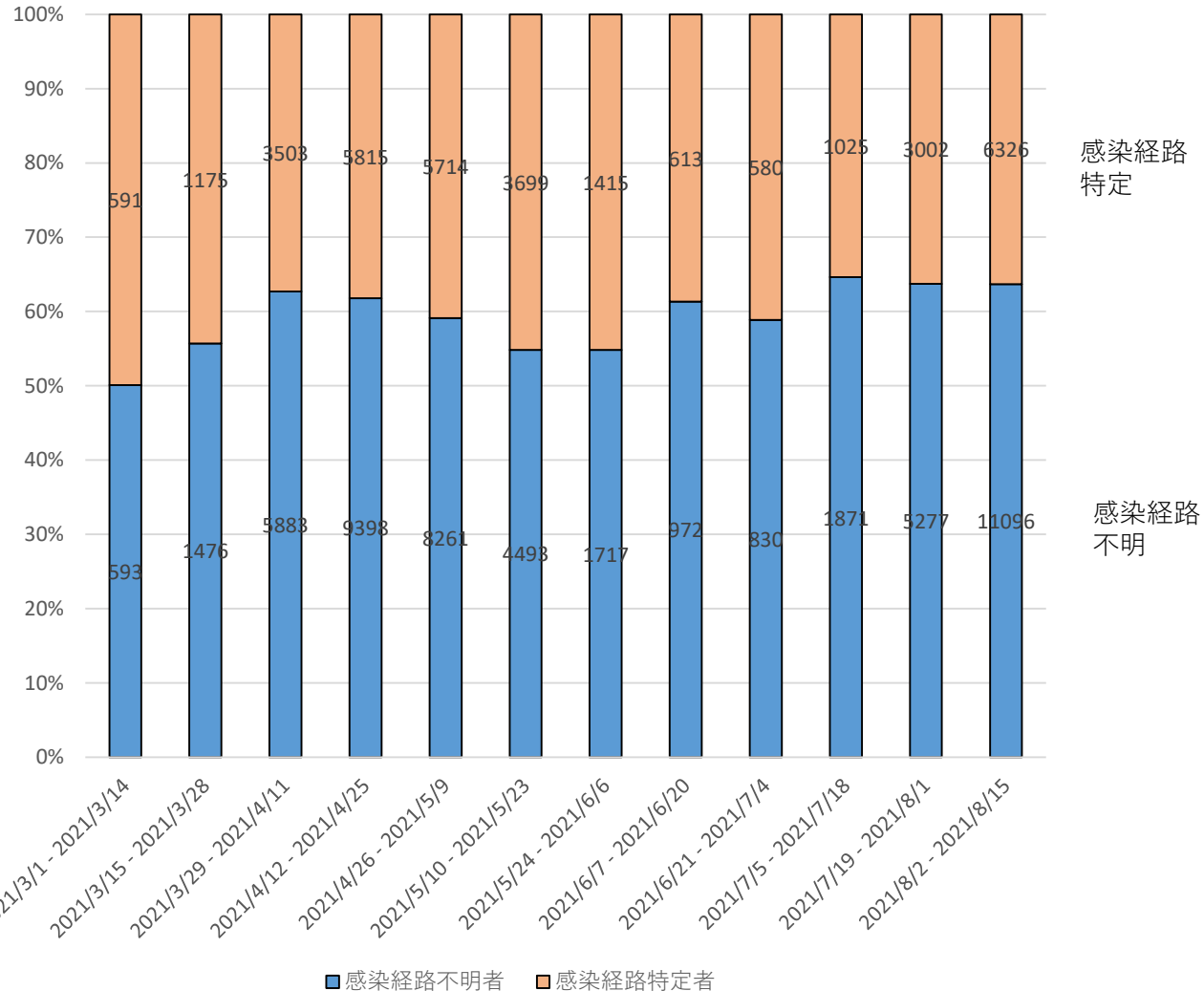


# 4 感染経路

# 陽性者の感染経路の状況

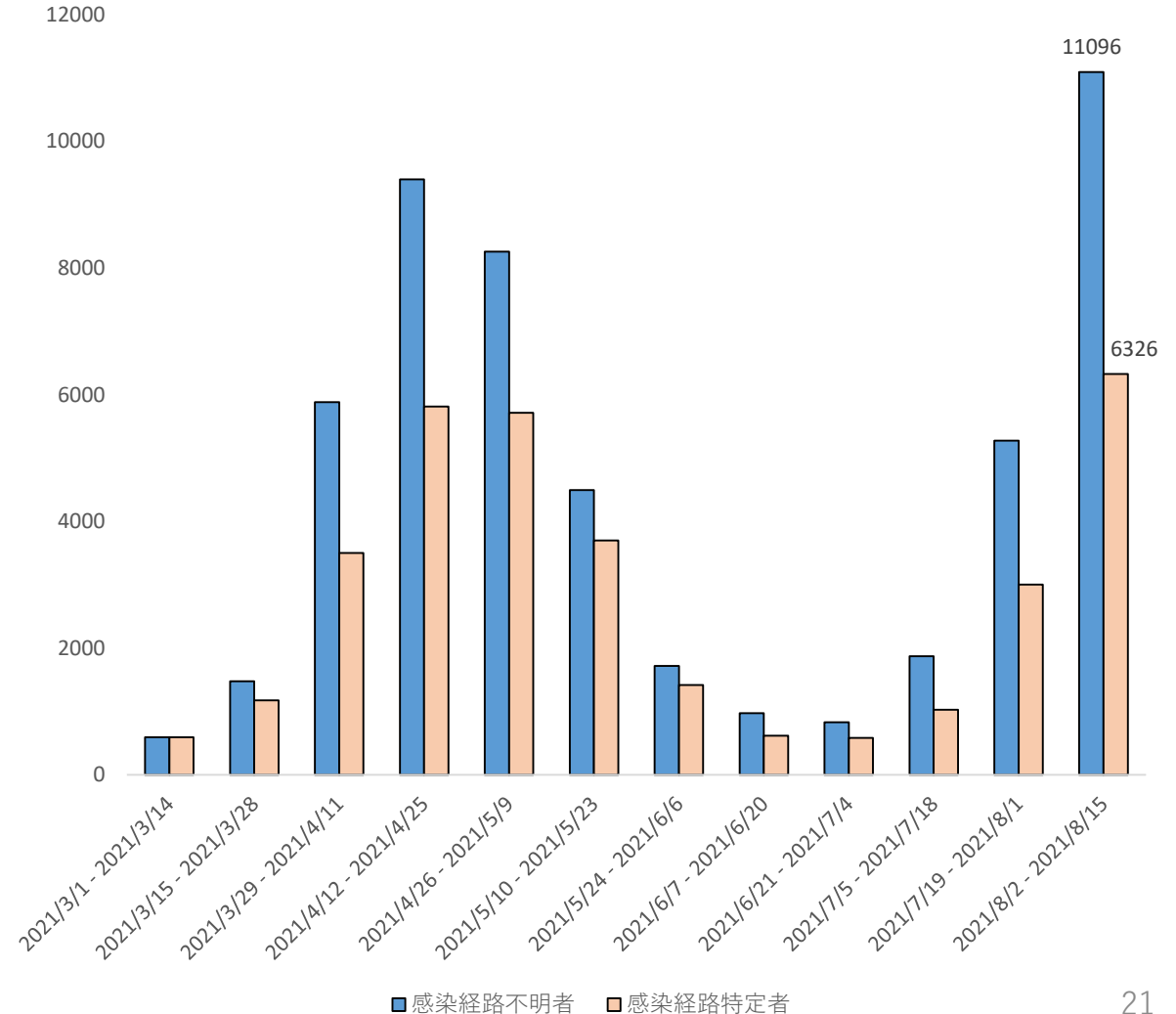
◆ 感染経路不明の割合は6月下旬以降、6割以上で高止まり。

感染経路の状況（割合）



(3月1日以降8月15日までに判明した85,325事例の状況)

感染経路の状況（実数）



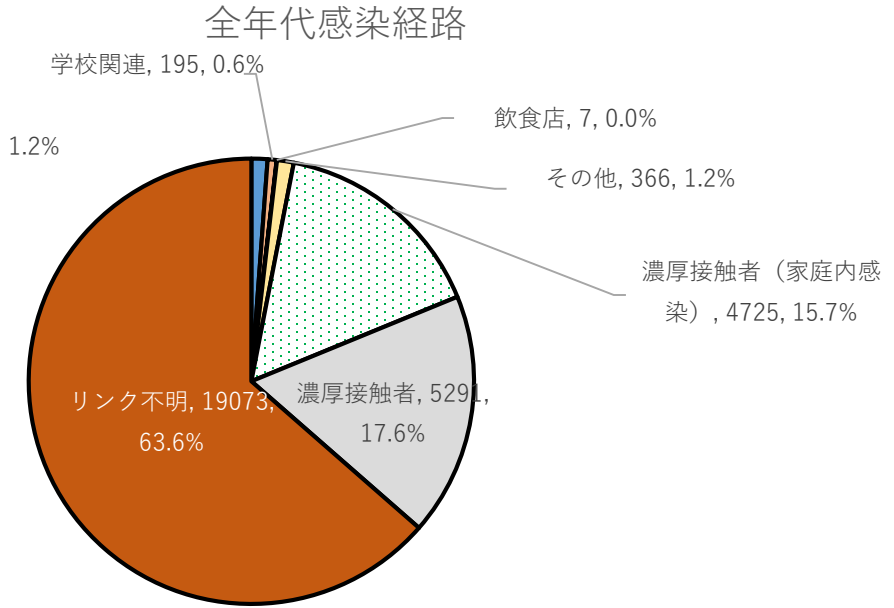
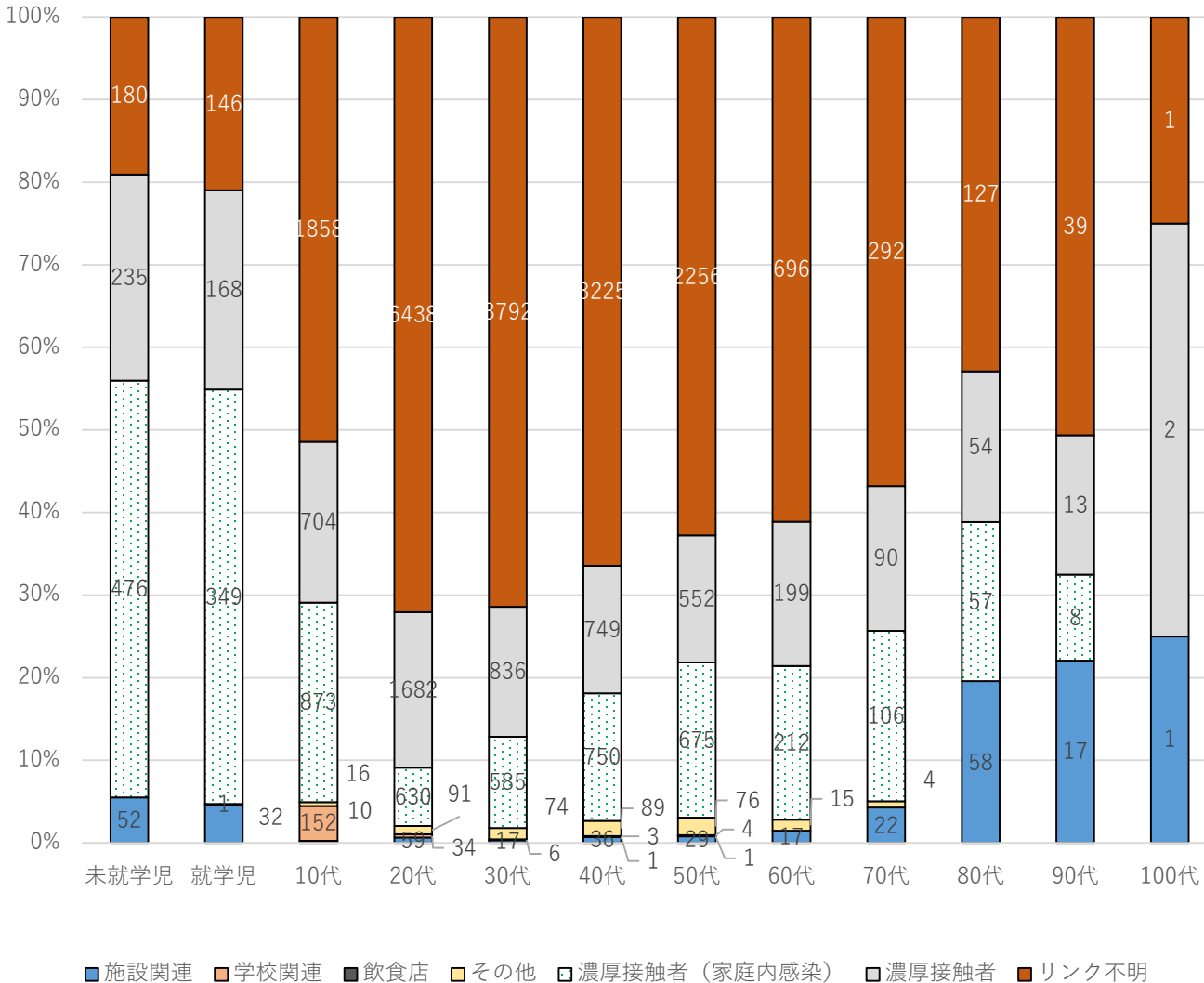
# 感染経路（第五波）

◆ 第五波の新規陽性者の感染経路は、施設関連が減少し、リンク不明がやや増加。

（6月21日以降8月15日までに判明した30,007事例の状況）

年代別感染経路

※年齢調査中を除く

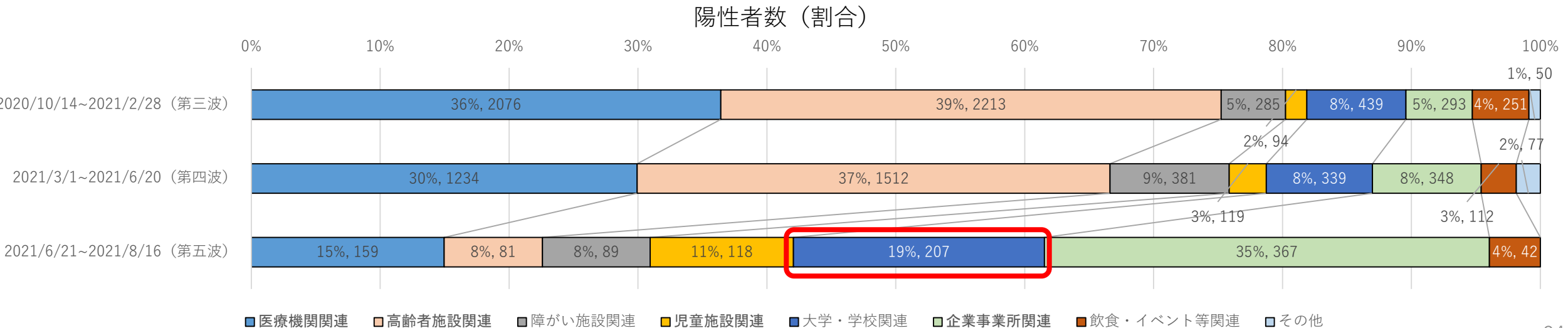
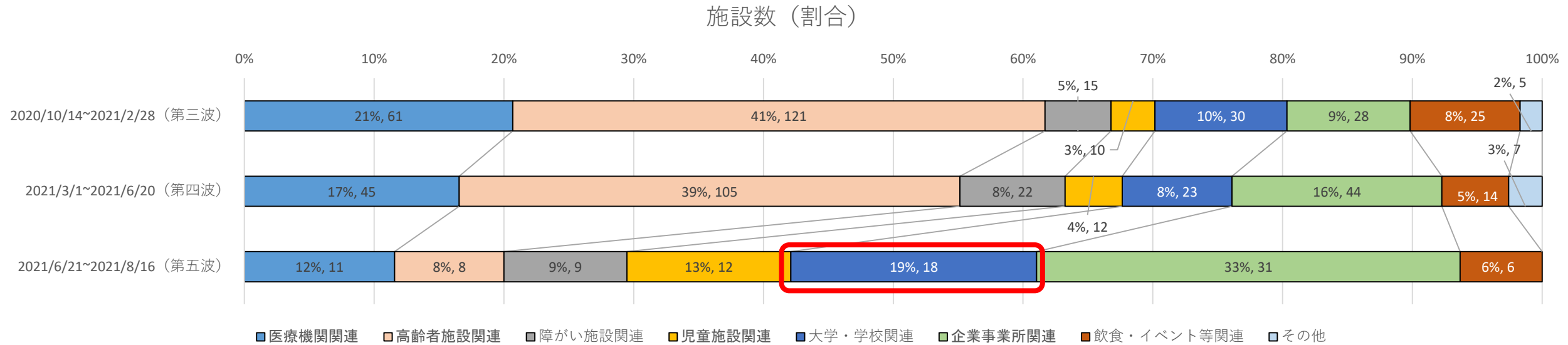


時点	施設関連	学校関連	飲食店	その他	濃厚接触者(家庭内感染)	濃厚接触者	リンク不明
第二波	7.7%	0.5%	0.5%	0.4%	12.3%	18.6%	60.0%
第三波	13.0%	1.2%	0.2%	1.4%	16.7%	14.8%	52.7%
第四波	6.0%	0.5%	0.0%	1.0%	16.4%	16.7%	59.3%
第五波 (6/21~8/15)	1.2%	0.6%	0.0%	1.2%	15.7%	17.6%	63.6%

# 5 感染エピソード

# 第三波から第五波にかけてのクラスター状況【割合】

◆ 第五波は、第三波・四波と比べ施設関連の割合が低い一方、大学・学校関連と企業事業所関連の割合が増加。





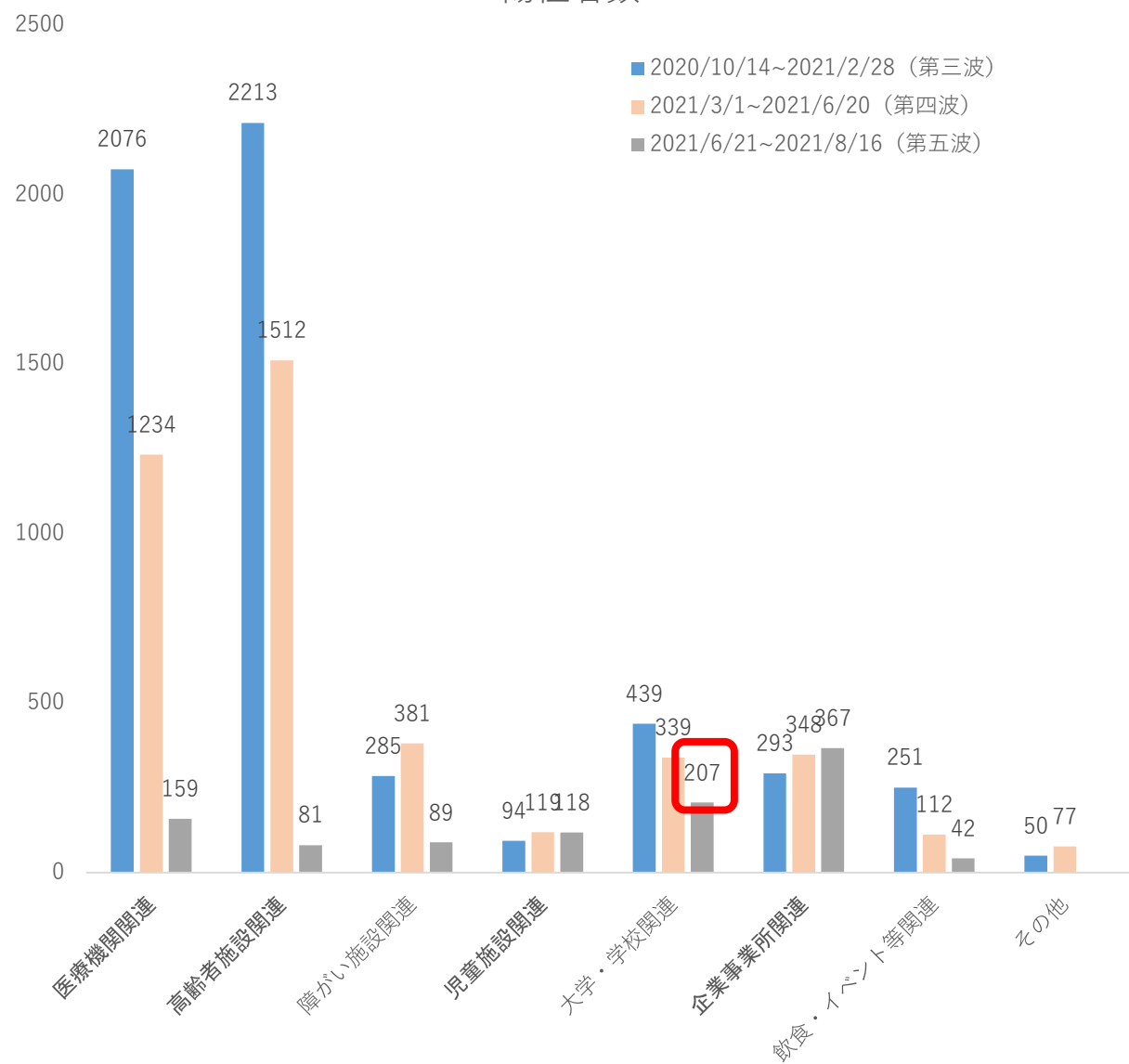
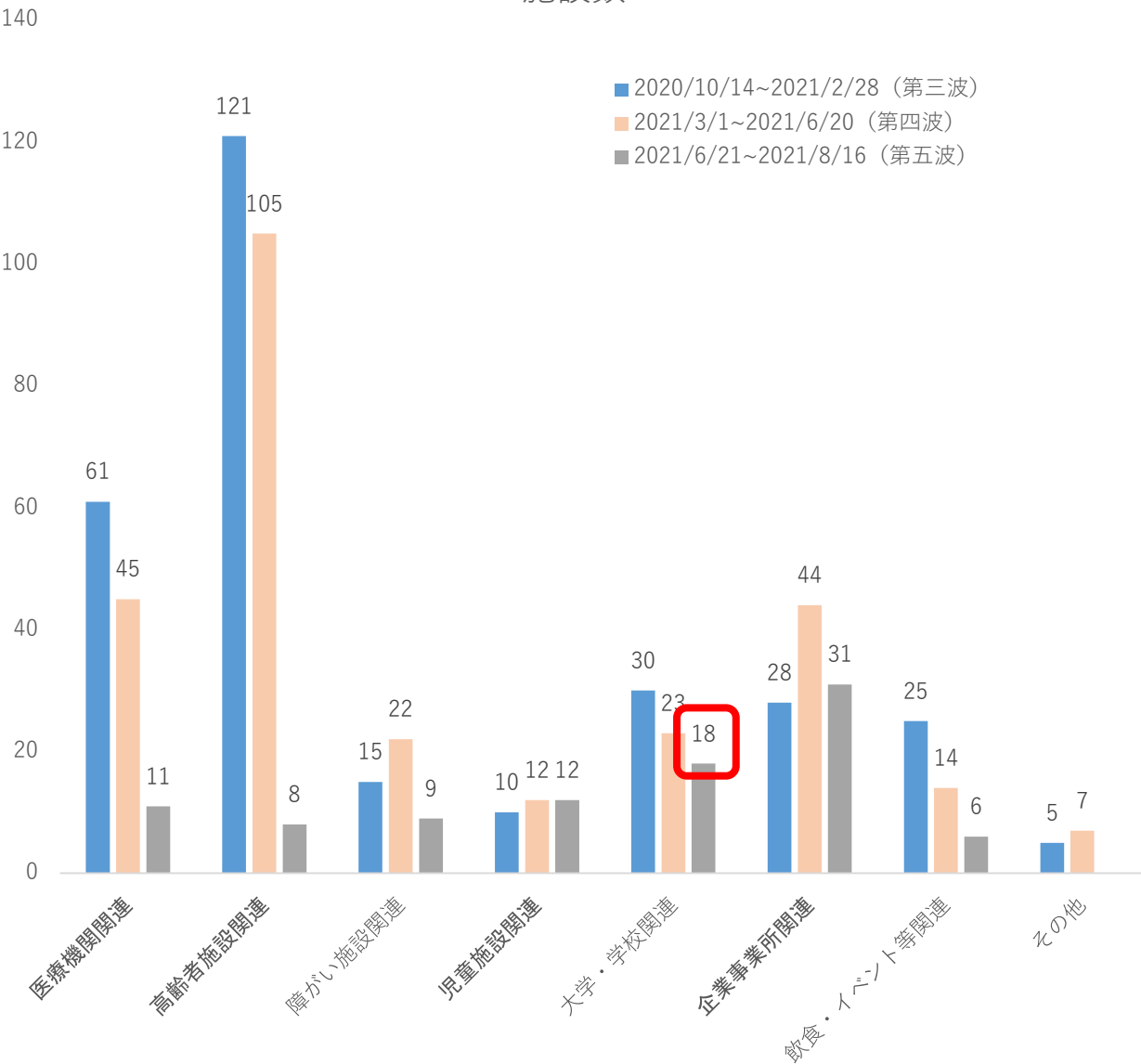
# 第三波から第五波にかけてのクラスター状況【実数】

施設数

陽性者数

- 2020/10/14~2021/2/28 (第三波)
- 2021/3/1~2021/6/20 (第四波)
- 2021/6/21~2021/8/16 (第五波)

- 2020/10/14~2021/2/28 (第三波)
- 2021/3/1~2021/6/20 (第四波)
- 2021/6/21~2021/8/16 (第五波)

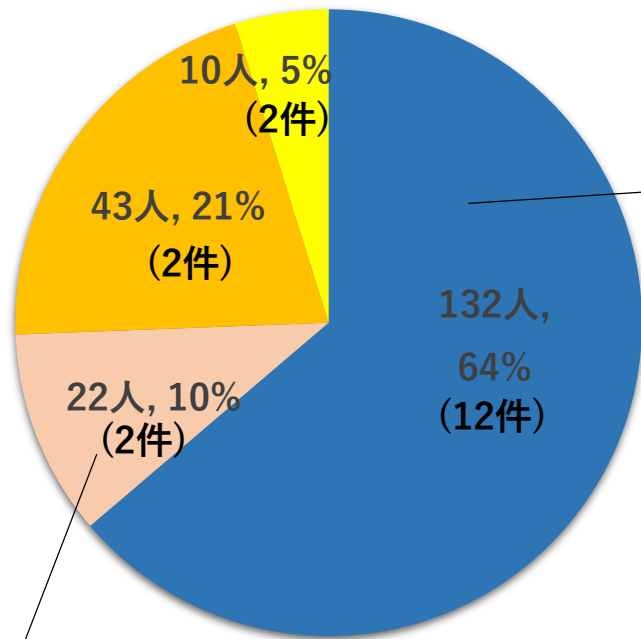


# 第5波における大学・学校関連クラスターの内訳

- ◆ 大学・学校関連クラスター18件のうち、部活動が4分の3を占め、部活動のうち、運動部が大半を占める。
- ◆ 就学児・10代・20代学生のうち1割強に、部活動、クラブ活動、集団活動等のエピソードを確認。

※新規陽性者への聞き取りにおいて把握した行動の中で、感染源となった可能性のあるもの

## 大学・学校関連クラスター内訳 (6/21~8/16 18件207人)



### 運動部の種類

- ・ダンスサークル (大学)
- ・ゴルフ部 (大学)
- ・バスケットボール部 (大学、高校)
- ・サッカー部 (大学)
- ・バレーボール部 (高校、中学)
- ・バドミントン部 (大学)
- ・テニス部 (中学)
- ・ラグビー部 (高校)

### 文化部の種類

- ・軽音部 (大学、高校)

■ 運動部 ■ 文化部 ■ クラス・授業 ■ 職員のみ

## 就学児・10代・20代学生の集団活動

- 陽性者のうち、学生3,927人(8/16)
- 学生3,927人中、部活動、クラブ活動、集団活動等のエピソードがあった者は460人(11.7%)。

### <部活動に付随するエピソード>

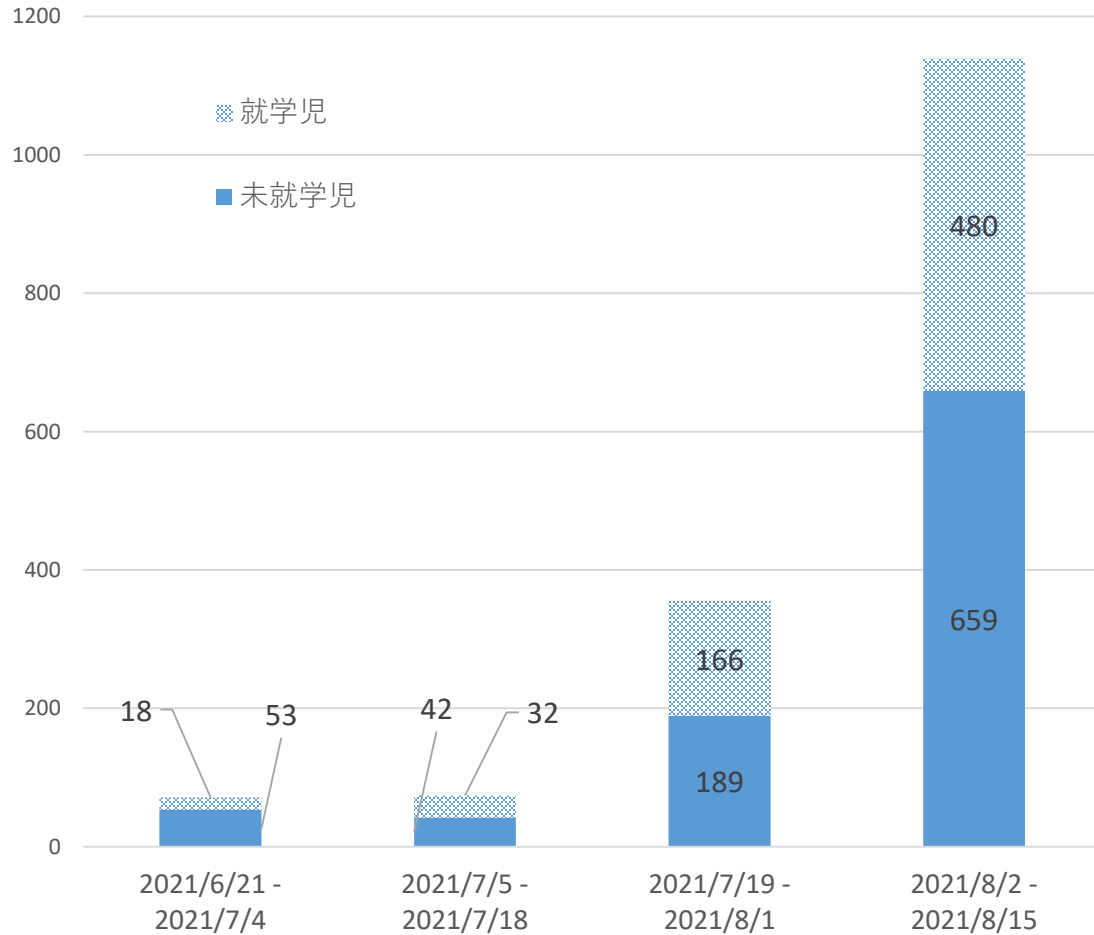
交流試合、練習後の打ち合わせ、  
活動後の食事会、カラオケ

# 第5波における陽性者の特徴とエピソード

◆ 第五波では、7月中旬から未就学児・就学児の陽性者が急増し、児童クラスターも複数確認。  
未就学児の感染経路としては、クラスター以外に、濃厚接触者やリンク不明が多く確認。

※新規陽性者への聞き取りにおいて把握した行動の中で、感染源となった可能性のあるもの

未就学児・就学児（9才以下）の状況（8/15時点）



児童クラスターの状況(8/16時点)

	施設数	陽性者数
保育園・保育所	6	64
学童保育	3	34
こども園	2	15
幼稚園	1	5
放課後デイ	3	36
合計	15	154

未就学児の感染経路(8/16時点)

	クラスター (濃厚接触者等含む)	濃厚接触者 (クラスター除く)	リンク不明
園児	67	244	49
在宅児	4	485	139
<b>合計</b>	<b>71</b>	<b>729</b>	<b>188</b>

※在宅児は、未記入や不明を含む

# 第5波における陽性者の特徴とエピソード

◆ 陽性者のエピソードとして、旅行や出張が多く確認。また、大型商業施設での勤務も多く確認されている。

## その他陽性者の主なエピソード

※未就学児・就学児、クラスター（医療機関関連、高齢者施設関連、障がい者施設関連、大学・学校関連、児童施設関連）を除く陽性者の2.6%

		エピソード	陽性者数
旅行	旅行	観光・海水浴・ドライブ・キャンプ・温泉など	207
	出張	県をまたいだ出張	123
	親戚の集まり	帰省・結婚式・法事など	72
	合宿・試合	スポーツ関連	14
	会食	県をまたいだ友人等との会食	12
	イベント	ライブ・フェス・観劇など	9
	その他		2
	詳細不明		54
	大型商業施設での勤務	百貨店やショッピングモールなどでの勤務したエピソードのあった者	249
	合計		742

## 【参考】

- 県をまたいで開催されるスポーツ大会等で発生したクラスター（7月以降）
  - 全国高等学校選抜アイスホッケー大会（北海道）

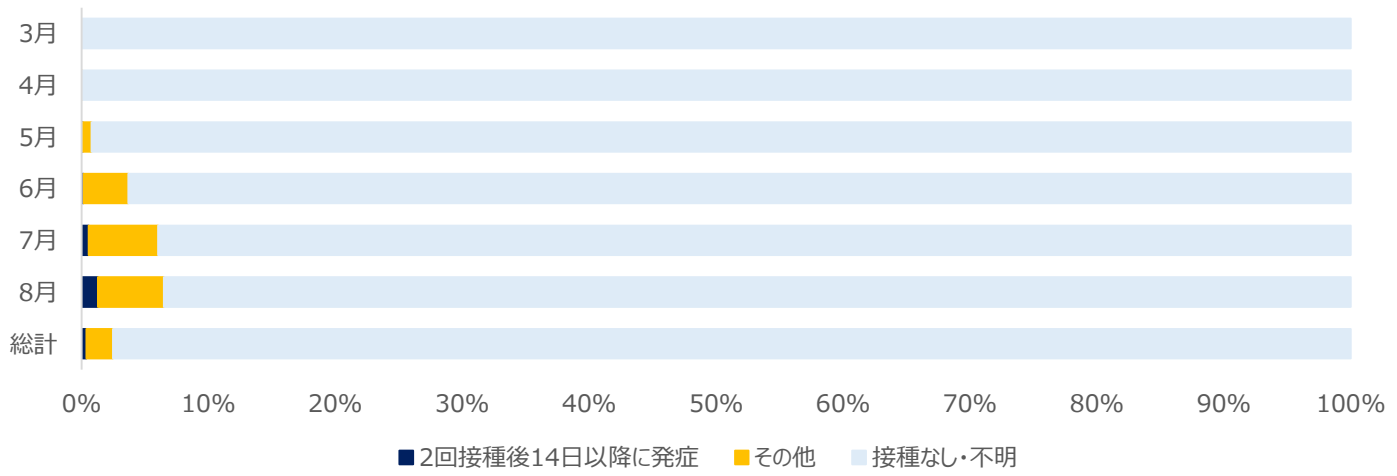
※新規陽性者への聞き取りにおいて把握した行動の中で、感染源となった可能性のあるもの

## 6 感染・療養状況と ワクチンの接種状況

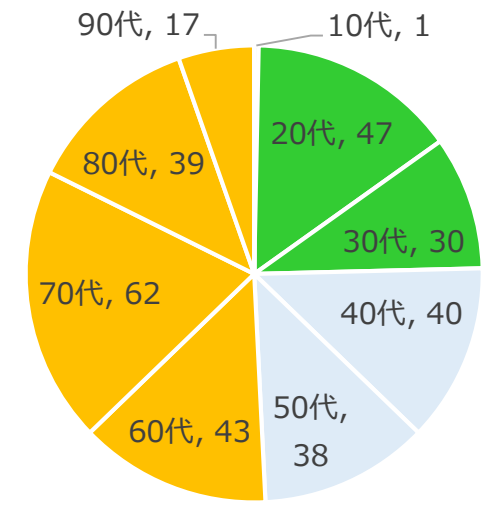
# 新規陽性者のワクチン接種歴

- ◆ 第四波（R3年3月1日）からR3年8月15日までの新規陽性者85,325名のうち、新型コロナワクチンを接種していた者は2,118名（2.5%）であった。
- ◆ 2,118名のうち、ワクチンの効果が期待される2回接種後14日以降に発症した者は317名（0.4%）であった。

月別の新規陽性者数とワクチン接種歴



2回接種後  
14日以降に発症した317名の年齢区分



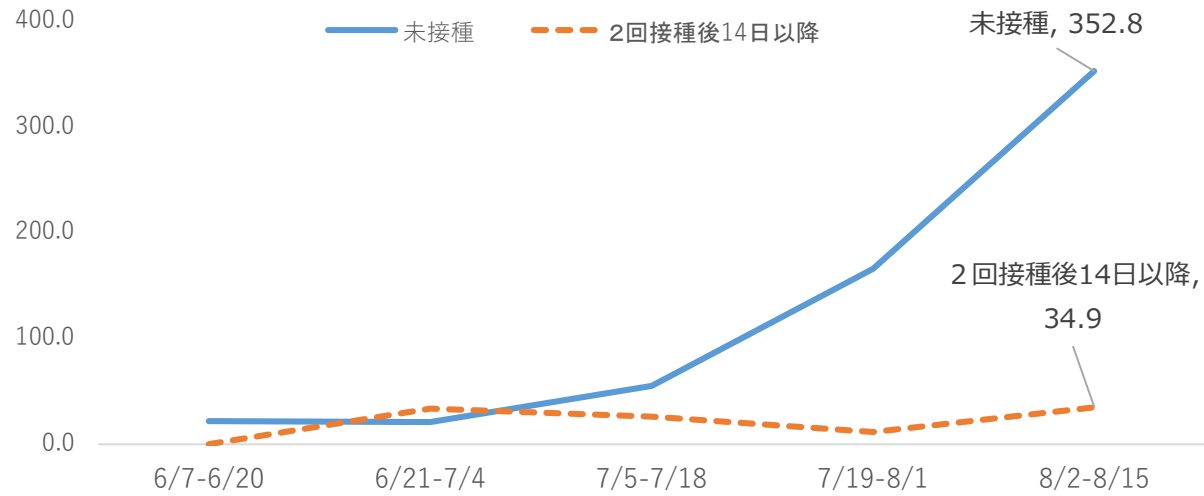
接種歴と接種後発症までの日数	3月	4月	5月	6月	7月	8月	総計
2回接種後14日以降に発症			14	6	59	238	317
その他（1回接種済または2回接種後14日未満に発症や発症日等不明）		2	131	129	588	951	1801
接種なし・不明	5080	28976	18382	3541	10105	17123	83207
総計	5080	28978	18527	3676	10752	18312	85325

※ファイザー社のワクチン接種で十分な免疫ができるのは、2回目接種を受けてから7日程度経過以降、モデルナ社は14日以降とされている（厚生労働省公表）。

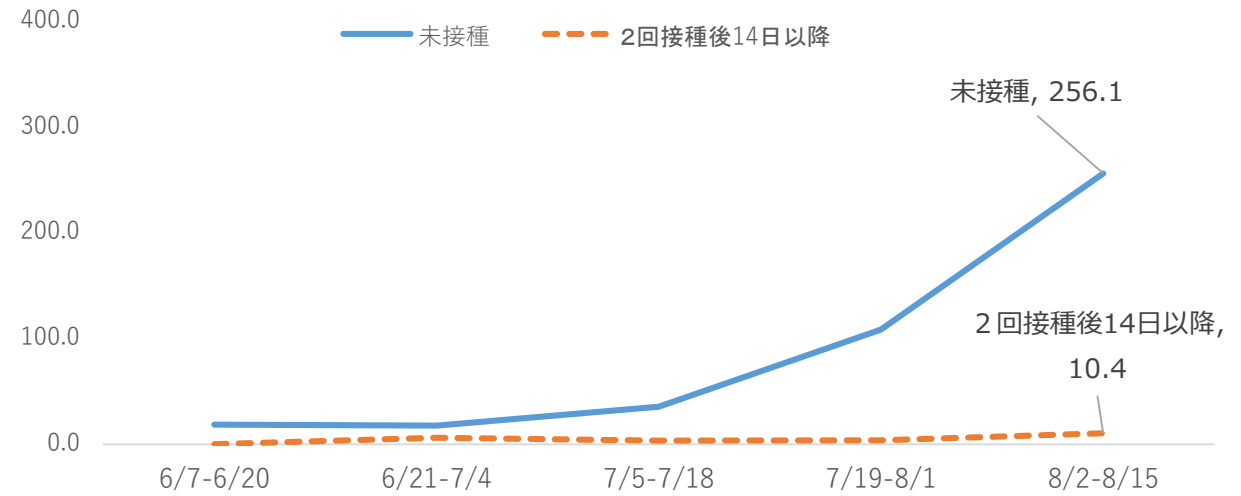
# ワクチン接種歴別のワクチン接種人口当たりの新規陽性者数（10万人対）

◆ 各年代ともに、ワクチン未接種者における新規陽性者数と比べ、ワクチン接種者における新規陽性者数は少ない。

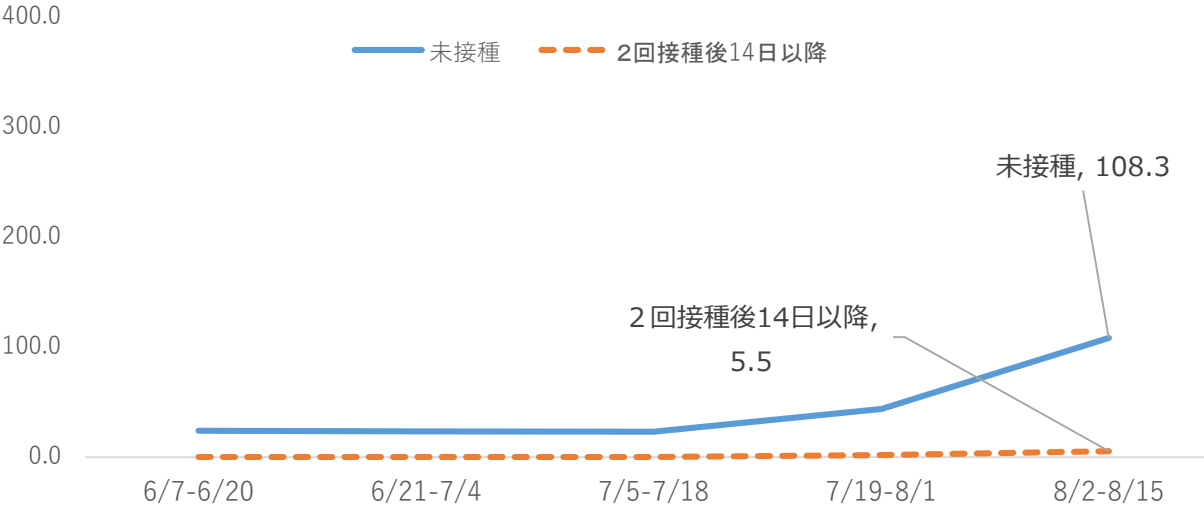
30歳以下（年齢不明含む）



40～64歳



65歳以上



【算出方法】

未接種：

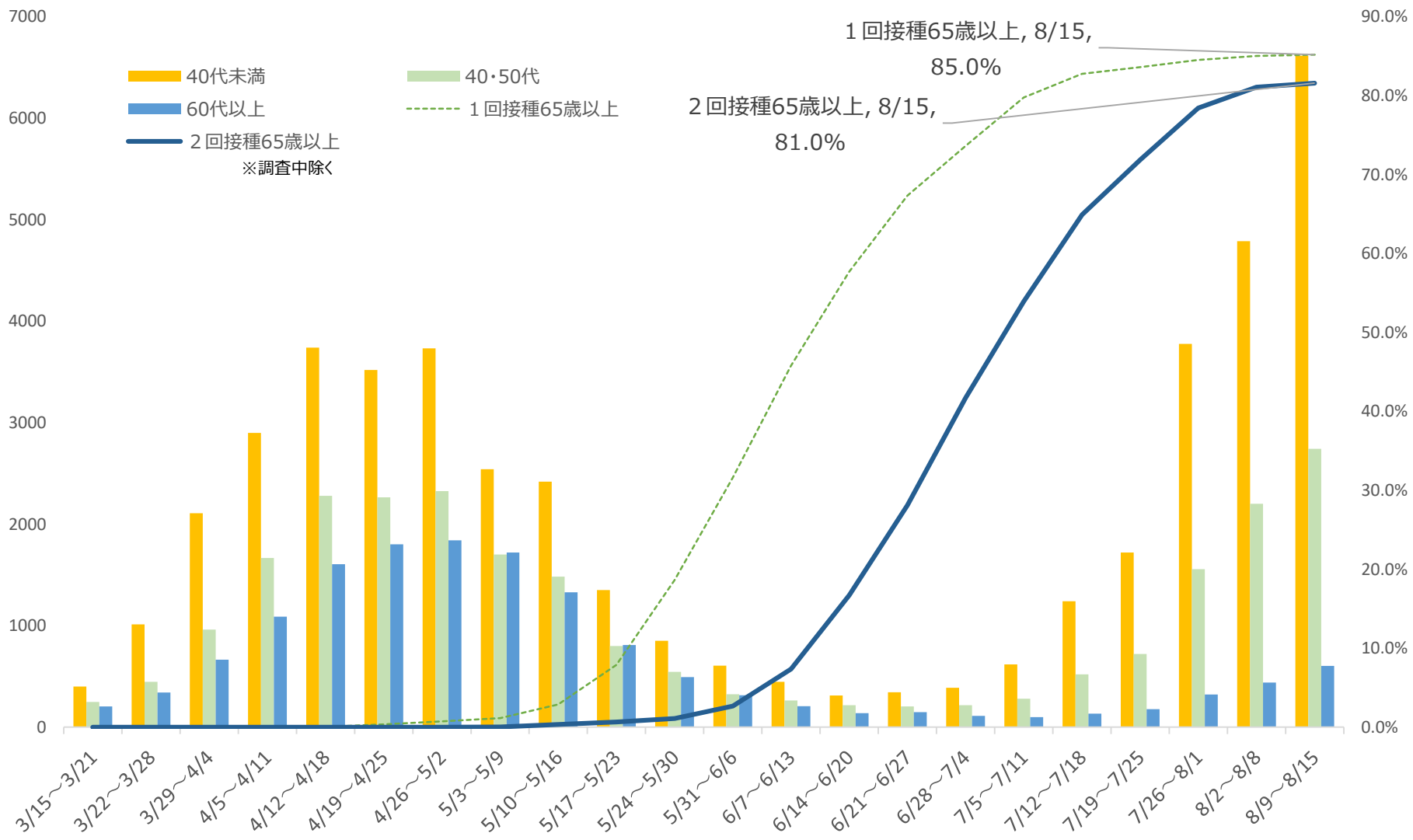
$$\left( \frac{\text{各期間の新規陽性者数（ワクチン未接種）}}{\text{当該期間最終日の累計ワクチン未接種者数}} \right) \times 10万$$

2回接種後14日以降：

$$\left( \frac{\text{各期間の新規陽性者数（ワクチン2回接種後14日以降）}}{\text{当該期間最終日の累計ワクチン2回接種者数}} \right) \times 10万$$

# 新規陽性者数及び高齢者のワクチン接種率（8月15日時点）

◆ 第五波は、50代以下の新規陽性者数は急増、60代以上の新規陽性者数は徐々に増加。



年齢別ワクチン接種率（8/15時点）

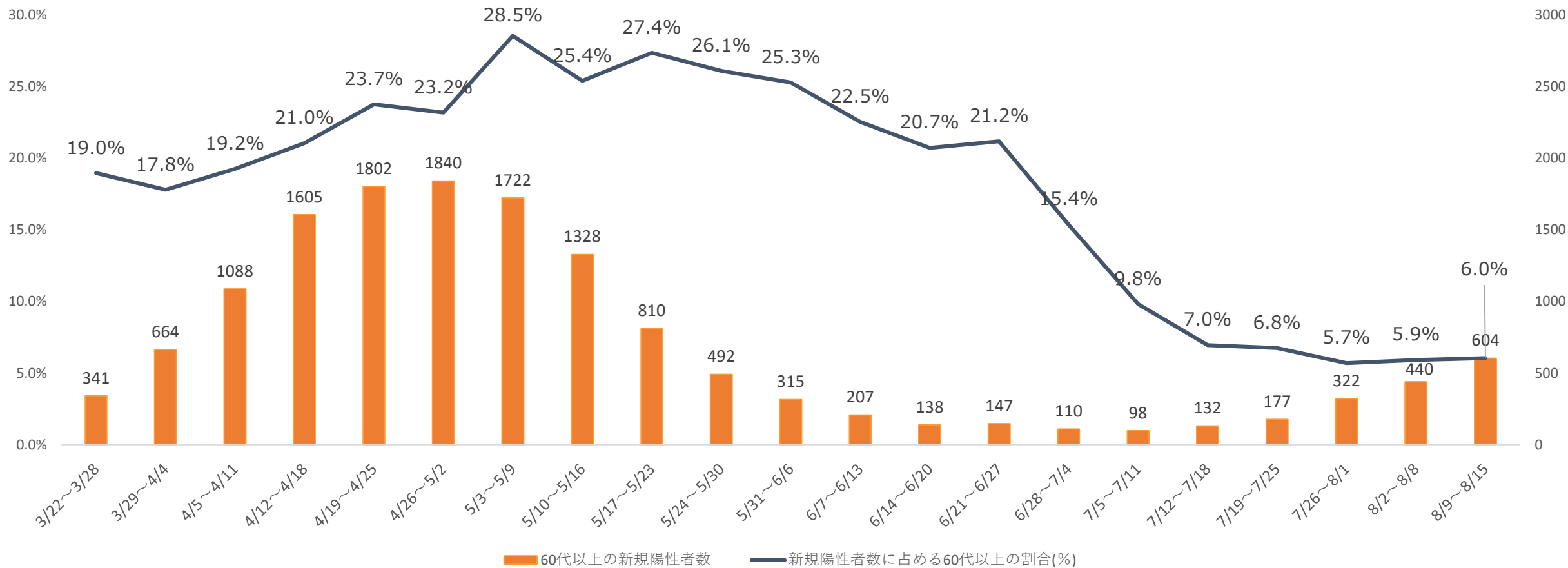
	1回接種	2回接種
65歳以上	85.0%	81.0%
60～64歳	61.7%	45.7%
40～50代	31.3%	15.9%

ワクチン接種率：VRSダッシュボードより算出



# 60代以上の新規陽性者数の推移（8月15日時点）

◆ 全陽性者に占める60代以上の割合は、依然、10%を下回っているものの、60代以上の新規陽性者数は増加。

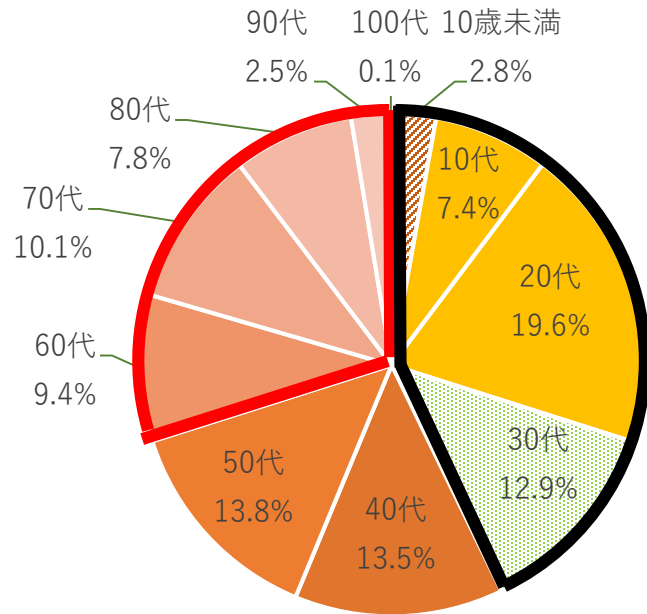


	3/22~3/28	3/29~4/4	4/5~4/11	4/12~4/18	4/19~4/25	4/26~5/2	5/3~5/9	5/10~5/16	5/17~5/23	5/24~5/30	5/31~6/6	6/7~6/13	6/14~6/20	6/21~6/27	6/28~7/4	7/5~7/11	7/12~7/18	7/19~7/25	7/26~8/1	8/2~8/8	8/9~8/15
全陽性者数	1,799	3,733	5,653	7,625	7,588	7,939	6,036	5,231	2,961	1,886	1,246	919	666	694	716	998	1,898	2,622	5,657	7,433	9,989
60代以上の新規陽性者数	341	664	1088	1605	1802	1840	1722	1328	810	492	315	207	138	147	110	98	132	177	322	440	604
新規陽性者数に占める60代以上の割合(%)	19.0%	17.8%	19.2%	21.0%	23.7%	23.2%	28.5%	25.4%	27.4%	26.1%	25.3%	22.5%	20.7%	21.2%	15.4%	9.8%	7.0%	6.8%	5.7%	5.9%	6.0%

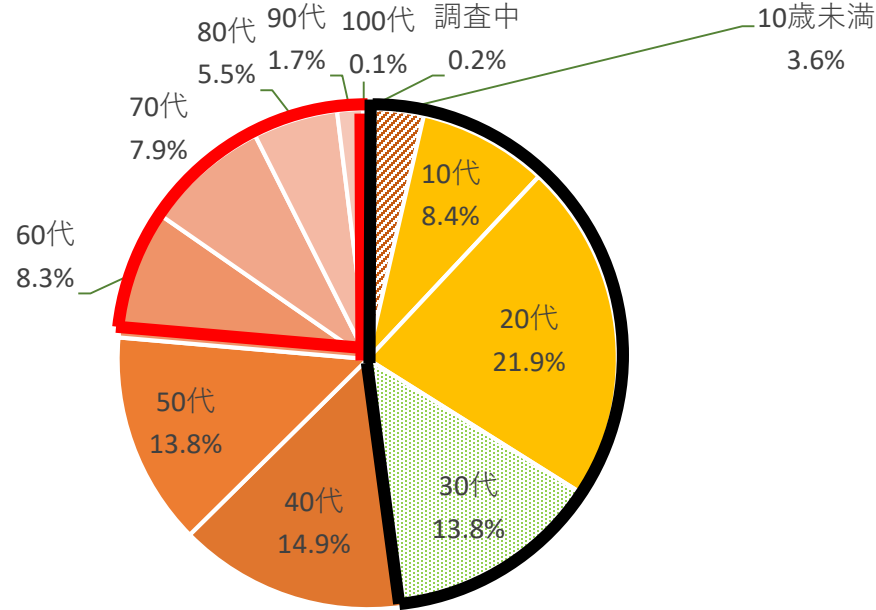
# 第三波以降の新規陽性者の年代構成（8月15日時点）

◆ 第三波、第四波と比べ、第五波は、新規陽性者数（年代不明を除く）に占める30代以下の割合が6割強と急増し、60代以上の割合が1割未満に減少。

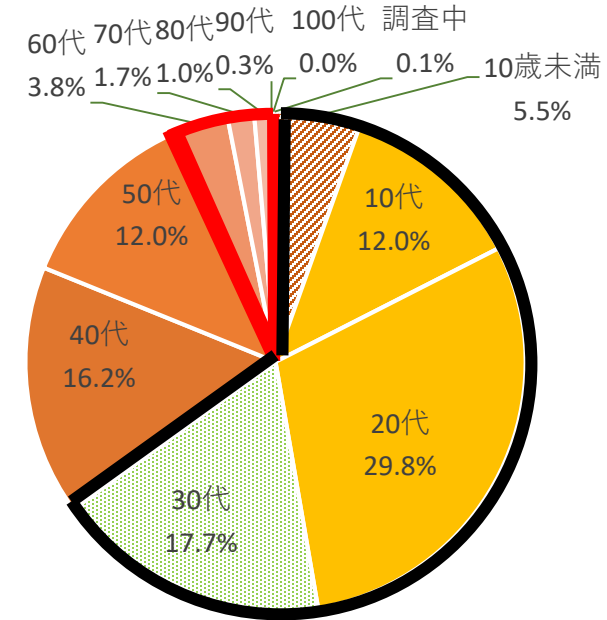
**第三波**  
(10月10日～2月28日)



**第四波** ※年代不明の事例を除く  
(3月1日～6月20日)



**第五波** ※年代不明の事例を除く  
(6月21日～8月15日時点)



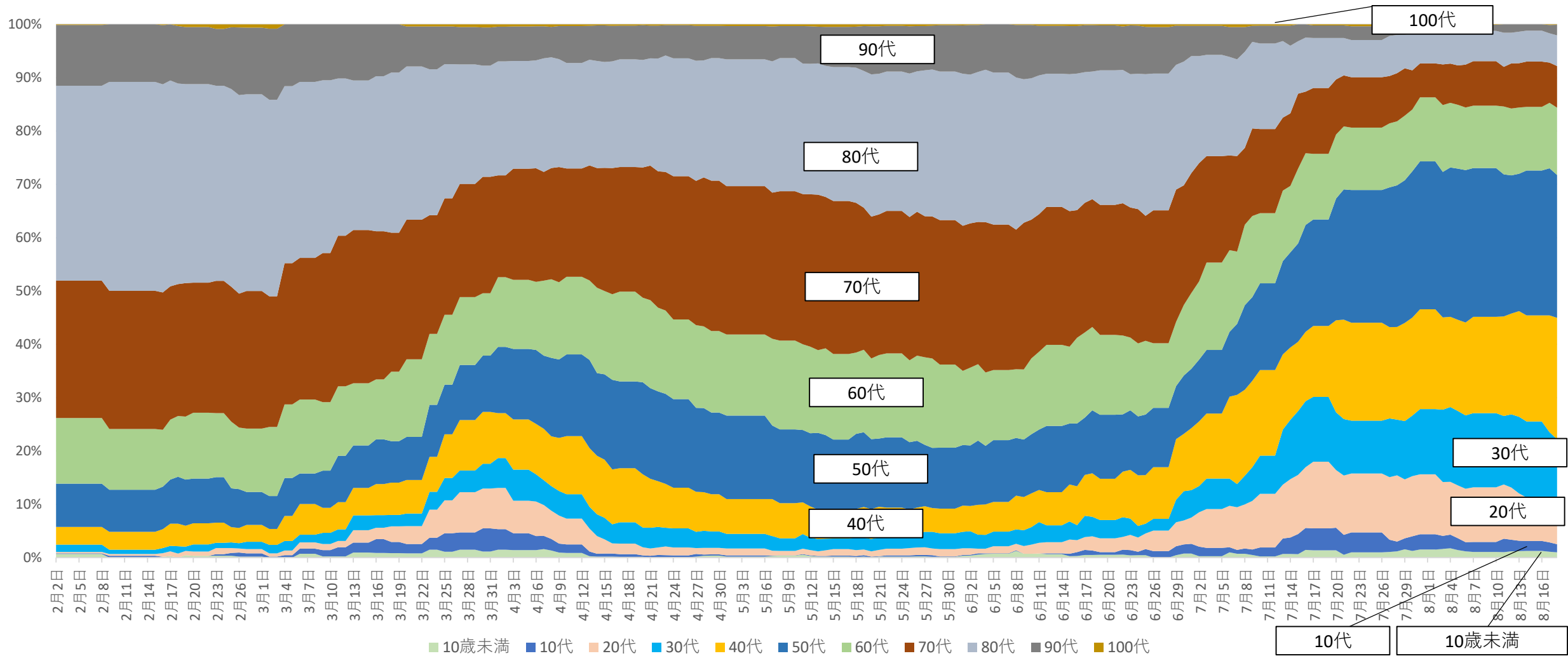
	第三波	第四波	第五波
30代以下の割合	42.7%	47.7%	65.0%
40・50代の割合	27.3%	28.7%	28.1%
60代以上の割合	29.9%	23.4%	6.8%

※他、調査中0.2%

※他、調査中0.1%

# 軽症中等症受入医療機関における入院患者数の年代別割合（8月17日時点）

◆ 第三波、第四波と比べ、第五波は60代以上の入院患者数の割合が減少し、50代以下の入院患者数の割合が増加。





# 新規陽性者と重症・死亡例のワクチン接種歴

◆ ワクチンの効果が期待される2回接種後14日以上経過後に発症した者は317名であったが、317名のうち、重症化や死亡に至った者はいなかった（令和3年8月15日時点）。

ワクチン接種歴と接種後発症までの期間	3月～5月			6月以降		
	陽性者数	重症者数 (重症率)	死亡者数 (死亡率)	陽性者数	重症者数 (重症率)	死亡者数 (死亡率)
2回接種後14日以降に発症	14	0 (0%)	0 (0%)	303	0 (0%)	0 (0%)
その他（1回接種済または2回接種後14日未満発症や発症日等不明）	133	1 (0.8%)	9 (6.8%)	1,668	30 (1.8%)	9 (0.5%)
接種なし・不明	52,438	1,688 (3.2%)	1,465 (2.8%)	30,769	296 (1.0%)	92 (0.3%)
合計	52,585	1,689 (3.2%)	1,474 (2.8%)	32,740	326 (1.0%)	101 (0.3%)

【再掲】判明月別のワクチン接種歴と接種後発症までの期間	6月判明			7月判明			8月判明		
	陽性者数	重症者数 (重症率)	死亡者数 (死亡率)	陽性者数	重症者数 (重症率)	死亡者数 (死亡率)	陽性者数	重症者数 (重症率)	死亡者数 (死亡率)
2回接種後14日以降に発症	6	0 (0%)	0 (0%)	59	0 (0%)	0 (0%)	238	0 (0%)	0 (0%)
その他（1回接種済または2回接種後14日未満発症や発症日等不明）	129	2 (1.6%)	4 (3.1%)	588	14 (2.4%)	5 (0.9%)	951	14 (1.5%)	0 (0%)
接種なし・不明	3,541	83 (2.3%)	66 (1.9%)	10,105	100 (1.0%)	20 (0.2%)	17,123	113 (0.7%)	6 (0.0%)
合計	3,676	85 (2.3%)	70 (1.9%)	10,752	114 (1.1%)	25 (0.2%)	18,312	127 (0.7%)	6 (0.0%)

※無症状病原体保有者は報道提供日-1日を発症日とした。

※重症率及び死亡率は陽性者数に占める重症者・死亡者の割合。割合は8月15日時点までの重症及び死亡者数に基づく。今後、重症及び死亡者数・新規陽性者数の推移により変動。